



このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

箱の中身を確認してください

重要

- ▶ ご購入後すぐに添付品をご確認ください。
- ▶ 添付品が不足している場合は、富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口（→P.27）にご連絡ください。
- ▶ 添付品は絶対に紛失しないよう大切に保管してください。添付品を紛失した場合は、有料でのご提供となる場合があります。また、ご提供できない添付品もあります。あらかじめご了承ください。
- ▶ 記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。すべて大切に保管してください。
- ▶ パソコンの修理について
このパソコンの修理時、外装やキーボードについては、代替部品で修理を行う場合があります。

- | | |
|--|--|
| ☐ パソコン本体 | ☐ 保証書 |
| ☒ 取扱説明書<スタートガイド> | ☐ AC アダプタ |
| ☐ 電源ケーブル | ☐ マウス ^{注1} |
| ☐ 乾電池（マウス用） ^{注1} | ☐ クロス ^{注2} |
| ☐ プライバシーフィルター ^{注2} | |

注1：WU-X/H1、WU2/H1 で、ご購入時にマウスを選択した場合に添付されています。

注2：WU-X/H1、WU2/H1 で、ご購入時に選択した場合に添付されています。

マニュアルについて

■ 取扱説明書<スタートガイド>（本書）

パソコンの設置、接続、セットアップまでを説明しています。

■ 取扱説明書<活用ガイド>

このパソコンに搭載されている機能やアプリを使いこなすための情報が掲載されています。必要に応じてお読みください。次の手順で「富士通アドバイザー」を起動してご覧になれます（→P.23）。ご覧になるにはインターネット接続が必要です。

1 タスクバーの （富士通アドバイザー）をクリックします。

2 富士通アドバイザーの画面左側の「マニュアル」をクリックします。

このパソコンをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後6年間です。ただし、添付品・オプション・周辺機器については、期間が異なる場合があります。添付のマニュアルなどでご確認ください）。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内に格納しています。

セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。

ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られていますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・製造工程上やご利用環境によって空気中の微細な異物が混入する場合があります。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微小な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はおくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。＜主な有寿命部品一覧＞液晶ディスプレイ、SSD、キーボード、マウス、ACアダプタ、ファン

消耗品について

バッテリーや乾電池は消耗品です。

- ・バッテリーの寿命は使用環境および保管方法、ご使用の時間や頻度によって大きく異なります。
- ・長期間使用し、次のような症状が出た場合、バッテリーの寿命が考えられます。
 - バッテリーの駆動時間や充電時間が極端に短くなる
 - 満充電にならなくなる
 - 充電できなくなる
 - 使用中に勝手に電源が切れる
- ・バッテリーはご使用条件により、寿命が近づくとつれて膨れる場合があります。リチウムイオンバッテリーの特性であり、安全上問題はありません。ただし、内部機器を圧迫し故障の原因となりますので、修理を依頼してください。
- ・本体を長期間使用しなかった場合にもバッテリーは劣化します。本製品のバッテリーはお客様自身で交換できません。バッテリーの交換は、保証期間の内外を問わず有償です。

24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

本製品のご利用について

- ・本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

- ・本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。
- ・本製品は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリー残量が不十分な場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。
- ・本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmwworld.net/fmv/jmoss/>
- ・クラス 1 レーザ製品の国際規格である（IEC 60825-1）に準拠しています。
クラス 1 レーザ製品 IEC 60825-1:2014
- ・VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に表示することができます。表示の操作方法は、「認定および準拠について」（→P.9）をご覧ください。
- ・電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マーク  を画面に表示することができます。表示の操作方法は、「認定および準拠について」（→P.9）をご覧ください。

マニュアルの表記

本書の内容は 2022 年 11 月現在のものです。

お問い合わせ先や URL などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。

■操作手順と画面について

Windows 11 は、機能の追加や改善、セキュリティの向上を目的とし、インターネットを通じて自動で更新されます。また、ソフトウェアやドライバなども機能の改善や追加のため、適宜更新されます。そのため、本書をご覧になる時期により、操作手順や画面に表示される内容などが変わることがあります。

■本文中での書き分けについて

本書には、複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称について」、「仕様一覧」、製品情報ページ（<http://www.fmwworld.net/fmv/>）で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■画面例およびイラストについて

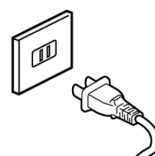
本文中の画面およびイラストは一例です。実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なる場合や、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略している場合があります。

■操作手順について

本書では、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なる場合があります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ（125V15A）用コンセント」をご利用ください。本書では「コンセント」と表記しています。



■製品の呼び方

本文中では製品名称を次のように略して表記することがあります。

製品名称	本書での表記
Windows 11 Home	Windows または Windows 11
Windows 11 Pro	Windows 11
Microsoft Office Home & Business 2021	Office または Office Home & Business 2021
Microsoft Office Professional 2021	Office または Office Professional 2021
Microsoft Word	Word ^{〔注〕}
Microsoft Excel	Excel ^{〔注〕}
Microsoft Outlook	Outlook ^{〔注〕}
Bluetooth®	Bluetooth
SSD	ストレージ
ATOK for Windows	ATOK
マカフィー® リブセーフ™	マカフィー リブセーフ
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題
i-フィルター® for マルチデバイス	i-フィルター

注：これらのアプリをまとめて「Office」と表記することがあります。

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■安全にお使いいただくための絵記号について

本書では、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危害や損害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。
	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。
	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。

	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。
	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。

	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。
	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。
	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。

<https://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>

ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

■設置／準備

△警告



コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

万が一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながるおそれがあります。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり落下して、けが、故障の原因になります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因になります。



矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。

火災の原因となることがあります。



本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

ケーブルに足を引っかけ転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。



添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。

不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



タコ足配線をしないでください。

感電、火災の原因になります。



電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因になります。



濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因になります。

⚠️ 注意



本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気が多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になることがあります。



本製品や AC アダプタを直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災、故障の原因になります。



本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。

電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。



本製品を設置する場所付近に、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む空間除菌薬の設置は控えください。また、本製品や設置するエリアを消毒する場合には、次亜塩素酸ナトリウムや二酸化塩素成分を含む消毒薬は使用しないでください。

塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。

■ 使用時

⚠️ 警告



火中に投入、加熱しないでください。

発煙・発火・破裂の原因になります。



端子をショートさせないでください。

感電、火災の原因になります。



発熱や煙、臭気や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



落したり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらさないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。

低温やけどの原因になります。



風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



本製品を持ち上げたり運んだりする場合、ディスプレイやディスプレイの枠部分を持たないでください。

本製品の変形や、すき間ができる原因となり、本製品の故障、ディスプレイの破損、けがなどににつながるおそれがあります。

持ち上げたり運んだりするときは、本製品の底面あるいは本製品中央の両脇を持ってください。



使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないでください。

通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因になります。



ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

一般指示

お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。

一般指示

誤って首に巻きつくと窒息の原因になります。



ACアダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。

一般禁止

感電、火災の原因になります。



ACアダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

一般禁止

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。

一般禁止

安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。



バッテリーパックや電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

一般禁止

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・指定された方法以外で使用しない
- ・分解や改造をしない
- ・加熱したり、火の中に入れたりしない
- ・熱器具に近づけない
- ・火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えない
- ・ショートさせない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れたりしない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管しない
- ・お子様の手の届く所に保管しない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けしない

特に、バッテリーパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって発熱・発火し、けがの原因になったり、破裂・液もれによる周囲の汚損の原因になることがあります。

バッテリーパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかな変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。



電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。

一般禁止

感電、火災の原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

一般禁止

感電、火災の原因になります。



ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

一般禁止

感電、火災の原因になります。



ACアダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。

一般禁止

ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

一般禁止

ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。



無線 LAN、Bluetooth®ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、ワイヤレスキーボード/マウスの注意

一般指示

次の場所では、無線通信機能を停止してください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

レーザ光線注意

- ・光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
- また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線をのぞきこまないでください。
レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- ・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



レーザー式マウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。

レーザ光線注意

クラス 1 レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。



イヤホン・ヘッドホンなどをお使いの場合は、長時間音量を大きくして聞かないでください。

聴覚障害の危険

難聴の原因となります。



注意



本製品の上に重いものを置かないでください。

一般禁止

けがの原因となることがあります。



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10～15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

一般指示

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感ずる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。



液晶ディスプレイを開閉するとき、手などをさはさないよう注意してください。

指のケガに注意

けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指のケガに
注意

光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となる場合があります。



一般指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となる場合があります。



高温注意

「SD メモリーカード」、「SIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。

やけどの原因になります。



一般禁止

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

■ メンテナンス／増設

警告



分解禁止

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。

修理や点検などが必要な場合は、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



一般指示

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。

作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。



一般指示

メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。

カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。

やけど、感電、火災の原因になります。



一般禁止

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障・火災の原因となります。



一般禁止

清掃するときに、塩化ベンザルコニウムを含む消毒薬を使用しないでください。また、製品を取り扱う前の手指消毒は、エタノール系の消毒薬を用いるものとし、塩化ベンザルコニウム成分を含む消毒薬は使用しないでください。手指消毒の後は、手指を十分に乾かしてください。消毒薬が手指に付着した状態では製品に触らないでください。

塩素が製品の内部に混入し、接続端子部の腐食による感電、火災、故障の原因になります。



一般禁止

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、お問い合わせ窓口にご相談ください。



一般指示

必ず本製品に添付のバッテリーパックを使用してください。寿命などでバッテリーパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリーパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発熱のおそれがあります。



一般禁止

指定以外の電池は使用しないでください。

また、2 本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



一般指示

電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。

ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。



プラグを抜く

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。

注意



一般禁止

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。

けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。

けが、故障の原因になります。



高温注意

電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。

メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、充分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。

やけどの原因になります。



一般指示

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけないように注意してください。

けがの原因になります。

■ 異常時

⚠ 警告



本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。

そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による故障、感電、火災の原因になります。



バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因になります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。

⚠ 注意



カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。



ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。

ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■ 保管／廃棄

⚠ 警告



バッテリーパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投げられると破裂のおそれがあります。

⚠ 注意



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。火災の原因になります。



本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

取扱上のご注意

パソコンの使用環境についての注意

パソコンは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

● パソコンをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

- ・動作時：温度 5～35℃／湿度 20～80%RH
- ・非動作時：温度 -10～60℃／湿度 20～80%RH

● パソコンの結露

動作時、非動作時にかかわらず、パソコン本体が結露しないようご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。パソコンを移動したときは、直射日光が当たらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

● パソコンをお使いになれない場所

- ・直射日光のあたる場所
感電、火災、破損や故障の原因となります。
- ・水など液体のかかる場所
パソコン内部の回路がショートして、壊れてしまうことがあります。
- ・ほこりの多い場所や、油を使用する場所
ファンに詰まったほこりや油分が放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- ・熱がこもりやすい場所（棚、ドア付 AV ラック、ふとんやクッションの上など）
放熱が妨げられ、故障の原因となります。パソコン本体およびACアダプタは平らで堅い机の上などに置いてください。
- ・静電気の発生しやすい場所
パソコンは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- ・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所
故障や機能低下の原因となります。
- ・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所
パソコン本体が腐食する可能性があります。
本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」（→P.3）もあわせてご覧ください。
- ・次亜塩素酸ナトリウム、二酸化塩素等の塩素を含む薬剤を使用した空間除菌の間近
消毒する場所の付近や、風下（ファンなどを使用している場合）での製品のお取り扱い、十分ご注意ください。

● 吸気孔や排気孔

- ・吸気孔や排気孔をふさがないでください。
放熱が妨げられ、故障の原因となります。
パソコン本体と壁の間に前後左右 10cm 以上のすき間を空けておいてください。
- ・排気孔の近くに物を置いたり、排気孔の周辺には手を触れないでください。
排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

● パソコン使用中の環境

- ・電源が入っているときは、キーボードの上に書類などのおおいかぶさる物を置かないでください。
放熱が妨げられ、故障の原因となります。
- ・パソコン本体のそばで喫煙しないでください。
タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- ・パソコンを長時間同じ場所に設置すると、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。

● 無線通信機能をお使いになる場所

- ・パソコン本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。
- ・お使いになる場所によっては電波を停止する必要があります（「安全上のご注意」→「無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、ワイヤレスキーボード／マウスの注意」（→P.5））。機内モードに切り替えて電波の発信を止めてください。
手順については、FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「9511-2870」を検索してご覧ください。

パソコンの取り扱いについての注意

■ パソコン本体の取り扱い上の注意

- ・衝撃や振動を与えないでください。
- ・操作に必要な部分を押したり、必要以上の力を加えたりしないでください。
- ・磁気ブレスレットや磁気ネックレスなど、磁気を発生するものを身につけたまま、操作しないでください。
画面が表示されなくなるなどの故障の原因となるおそれがあります。
- ・ディスプレイを閉じてスリープや休止状態にしない設定の場合は、電源が入っているときにパソコン本体のディスプレイを閉じないでください。
パソコン本体の放熱が妨げられ、故障の原因となることがあります。
- ・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。
故障の原因になる可能性があります。
- ・パソコン本体を立てたり、傾けたりして置かないでください。
パソコン本体が倒れて、故障の原因となることがあります。
- ・パソコン本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
- ・キーボードやパームレスト部（手を載せる部分）に手を付いて立ちあがったり、肘を付いたりしないでください。
キーボードやパームレスト部を強く押すと、パソコン内部に力加わり、故障の原因となる可能性があります。

■ パソコンの温度上昇に関して

- ・長時間使用すると、パソコン表面の温度が上昇して、温かく感じることがありますが、故障ではありません。
これは、パソコン内部の温度が一定以上になると、装置全体から放熱するので、キーボードなどの表面も温くなるためです。
- ・ひざの上などでは、使用しないでください。
パソコンの底面が熱くなり、低温やけどを起こす可能性があります。
- ・使用するアプリによっては、パームレスト部（手を載せる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。
- ・排気孔周辺は熱くなりますので、使用時には触れないでください。

■ パソコン内部からの音に関して

- ・パソコン本体内部からは、次の音が聞こえることがありますが、これらは故障ではありません。
- ・内部の熱を外に逃がすためのファンの音
- ・内部の電子回路の動作音

■ パソコンを持ち運ぶ場合の注意

- ・ディスプレイを閉じ、パソコン本体に接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。
- ・パソコン本体にメモリーカードをセットしている場合は必ず取り外してください。
- ・パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするときは、両手で掴んでください。
- ・パソコン本体や AC アダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。
- ・パソコン本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合には、次の点に注意してください。
 - ・パソコン本体の背面を下側にして、かばんなどに入れてください。
 - ・AC アダプタをいっしょに入れて持ち運ぶと、AC アダプタでパソコン本体を傷つけたり、破損したりするおそれがあります。
- ・パソコン本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- ・パソコン本体を持ち上げたり移動させたりするとき、電源を切った直後は、排気孔の付近が温かくなっていることがありますので注意してください。

■ ディスプレイの取り扱い上の注意

- ・ディスプレイを開閉するときは、次の点に注意してください。
 - ・衝撃を与えないようにゆっくりと開閉してください。
 - ・無理に大きく開けないでください。
 - ・ディスプレイを開くとき、ディスプレイとパソコン本体背面の間に物をはさまないでください。
- ・ディスプレイをたたいたり強く押したりしないでください。また、ひっかいたり先のとがったもので押したりしないでください。
- ・表示面・天板面にかかわらず、ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。
- ・ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
ディスプレイを開いたまま、パソコン本体を裏返して置かないでください。

- ・ディスプレイとキーボードの間に、物をはさまないでください。
- ・ディスプレイに汚れが付着した場合は、OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。詳しくは  『取扱説明書<活用ガイド>』 (→P.1) の「取り扱い」－「お手入れ」をご覧ください。

■ AC アダプタの取り扱いについて

- ・ケーブルを AC アダプタに巻き付けるときは根元を強く引っ張らないでください。
- ・ケーブルを AC アダプタに巻き付けた状態のまま使用しないでください。

■ 雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。ただし、どのような避雷器をお使いになってもパソコン本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

● 落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらも避雷器で保護できない可能性があります。

・ 直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。

ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもパソコン本体を保護できないことがあります。

・ 誘導雷

パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。

雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

● 落雷時の故障について

落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理になります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。また、落雷によってパソコン本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

■ バッテリーに関して

・ バッテリーを長持ちさせるために

- ・ 長期間パソコンを使用しない場合は、パソコンの電源を切ったから AC アダプタを取り外してください。
- ・ 月に一度はバッテリーを充電し、バッテリーの動作を確認してください。
- ・ バッテリーの満充電量を変更することで、バッテリーの充電に使用する電力を節約するとともに、バッテリーの消耗を抑え、バッテリーの寿命を延ばすことができます。詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』 (→P.1) の「使いこなすために」－「節電」をご覧ください。

・ バッテリー駆動時間について

バッテリー駆動時間はお使いの環境によって大きく異なります。次のことを行うことでバッテリー駆動時間を延ばすことができます。

- ・ ディスプレイの明るさを暗くする
- ・ 省電力機能を活用する

ディスプレイの明るさの調整方法、省電力機能について詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』 (→P.1) の「使いこなすために」をご覧ください。

・ バッテリーの消耗について

バッテリーは消耗品です。

充電を繰り返すうちにバッテリーが劣化し、100%まで充電しても駆動時間が短くなる場合があります。バッテリーが寿命に達するまでの期間は、パソコンを使用する環境や使用頻度で異なります。

認定および準拠について

このパソコンに固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、次の手順で表示される画面で確認できます。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 「情報」(「Info」) メニューから「認証表示」(「Display Regulatory Compliance」) を選択します。

BIOS セットアップについて詳しくは、 『取扱説明書<活用ガイド>』 (→P.1) の「使いこなすために」－「BIOS の設定」をご覧ください。

商標および著作権について

Intel、インテル、Intel Core、Thunderbolt、Thunderbolt ロゴは、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Corel、Corel パレーンロゴ、PaintShop、WinZip は、カナダ、アメリカ合衆国および/またはその他の国の Corel Corporation および/またはその関連会社の商標または登録商標です。

CyberLink、CyberLink のロゴは、CyberLink Corp. およびその関連会社の商標または登録商標です。

McAfee、マカフィー、McAfee のロゴ、McAfee LiveSafe、およびマカフィー リブセーフは、米国法人 McAfee, LLC もしくは米国の国内外にあるその関係会社の商標または登録商標です。

デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルタ-*i*-フィルタ-はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

Learn to Speak English は、eLanguage, LLC の米国における登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。



HDMI、HDMI High-Definition Multimedia

Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing



Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。富士通クライアントコンピューティング株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

Google、Google Chrome、Google ロゴ、Google Play、Android は、Google LLC の商標または登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright Fujitsu Client Computing Limited 2023

各部の名称について

このパソコンの各部の名称は次のとおりです。

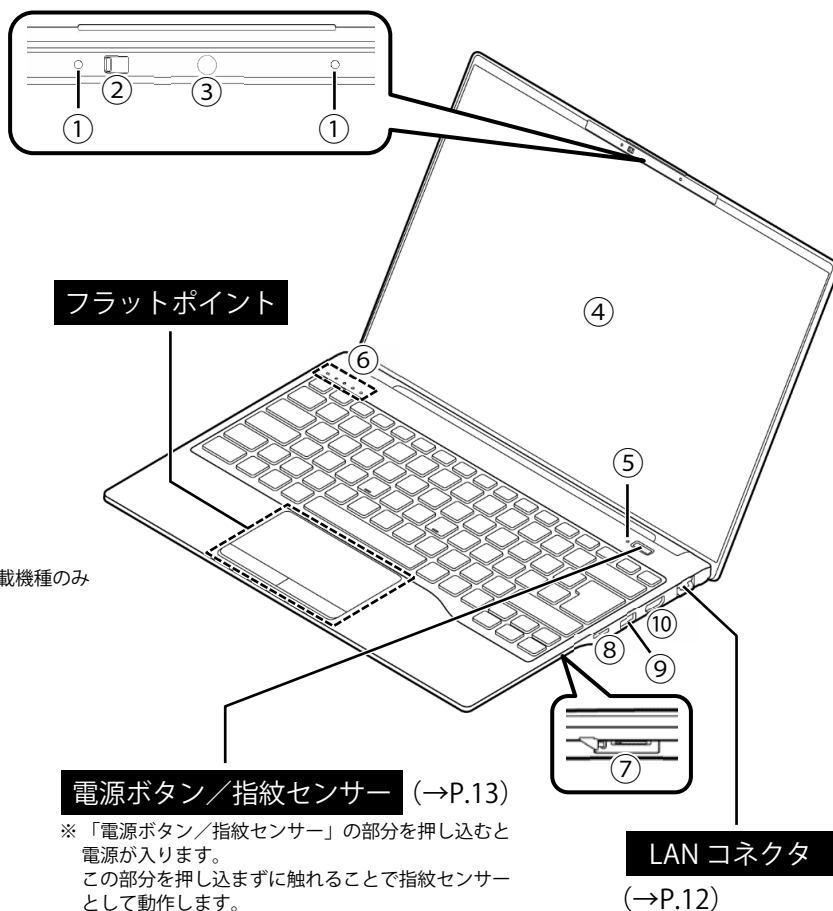
Point

▶ ここに掲載されていない部分の名称や、各部の働きなど詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』（→P.1）の「各部の名称と働き」をご覧ください。

■ 本体前面、右側面

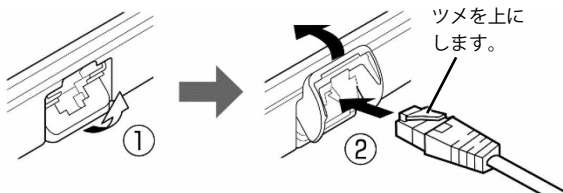
- ① 内蔵マイク
- ② プライバシーカメラシャッター
- ③ Web カメラ
- ④ 液晶ディスプレイ
- ⑤ 電源ランプ
- ⑥ 状態表示 LED
- ⑦ マイクミュートランプ
- ⑧ F Lock ランプ
- ⑨ Num Lock ランプ
- ⑩ Caps Lock ランプ
- ⑪ Scroll Lock ランプ
- ⑦ nanoSIM カードスロット 〔注 1〕
- ⑧ ダイレクト・メモリスロット
- ⑨ USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ
- ⑩ HDMI 出力端子

注 1：LIFEBOOK WU2/H1 の無線 WAN 搭載機種のみ搭載されています。



Point

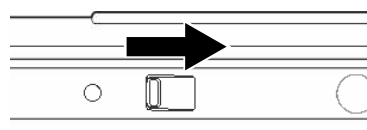
- ▶ LAN コネクタは、次のように引き出してからお使いください。
- ① パソコン本体の LAN コネクタ側を持ち上げ、LAN コネクタを上引き上げます。
 - ② LAN コネクタに LAN ケーブルを接続します。



使用している LAN ケーブルによっては、LAN コネクタのツメが LAN コネクタに固定できない場合があります。この場合、無理に固定しようとせず、LAN コネクタが抜けないように注意しながら、そのままお使いください。

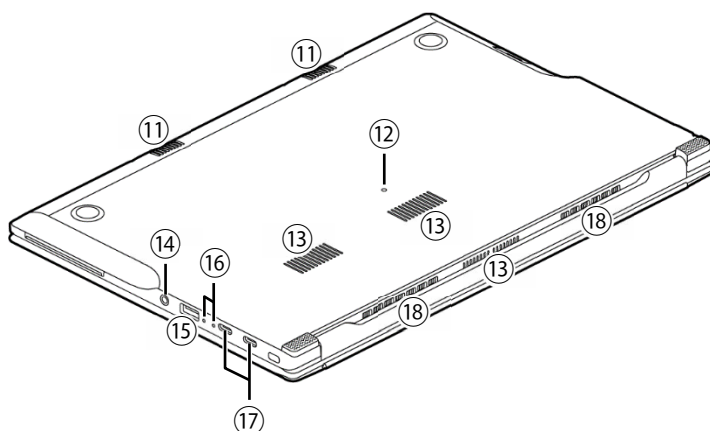
また、LAN コネクタを使用した後は、LAN コネクタを元の位置に戻してください。LAN コネクタを引き上げたままお使いになると、LAN コネクタの破損の原因となる場合があります。

- ▶ プライバシーカメラシャッターを、ご購入時の状態から右図の矢印の方向にスライドすると、Web カメラがふさがり映像が映らなくなります。オンライン会議で一時的に映像を映したくないときなどに便利です。シャッターを元に戻すと映像が映ようになります。



■ 本体下面、左側面

- ⑪ スピーカー
- ⑫ OFF ボタン
- ⑬ 吸気孔
- ⑭ マイク・ラインイン・ヘッドホン・
ラインアウト・ヘッドセット兼用
端子
- ⑮ USB3.2 (Gen1) Type-A コネクタ
(電源オフ USB 充電機能対応)
- ⑯ 状態表示 LED
 - ⏻ 電源ランプ
 - 🔋 バッテリーステータスランプ
- ⑰ USB Type-C コネクタ 〔注 2〕 〔注 3〕
- ⑱ 排気孔



注 2：お使いの機種により次のいずれかが搭載されています（どちらも DisplayPort Alternate Mode に対応しています）。

- ・ Thunderbolt™ 4 USB4 (Gen3) Type-C コネクタ
LIFEBOOK UH90/H1
LIFEBOOK WU2/H1 の無線 WAN 搭載機種
- ・ USB3.2 (Gen2) Type-C コネクタ
LIFEBOOK UH-X/H1、WU-X/H1
LIFEBOOK WU2/H1 の無線 WAN 非搭載機種

注 3：このコネクタに AC アダプタを接続します（→P.12）。

セットアップする

インターネット接続の準備をする

セットアップを進めるには、インターネットへの接続が必要です。事前にインターネットに接続する環境を整えてください。有線 LAN をお使いになる場合は、Windows のセットアップをする前に LAN ケーブルを接続します (→P.12)

インターネット接続の方法については、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

- データ通信機器や接続に関しては、ご契約のサービス提供元にお問い合わせください。

■ 無線 LAN でインターネット接続の準備をする

無線 LAN でインターネットに接続する場合は、別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、ネットワーク名 (SSID) とパスワード (暗号化キー) を設定し次の欄に記入してください。

無線 LAN アクセスポイントの設定

ネットワーク名 (SSID) :

パスワード (暗号化キー) :

重要

- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、パスワードを設定するなどセキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。設定方法について詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。設定方法についてわからないときは、無線 LAN アクセスポイントの製造会社に問い合わせてください。
- ▶ 5GHz 帯チャンネルに対応した無線 LAN 搭載モデルでは、パソコンを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります。
- ▶ IP アドレスを自動取得 (DHCP 設定) でできない接続 (広帯域 PPPoE、無線 WAN) では、セットアップできません。

パソコンの準備をする

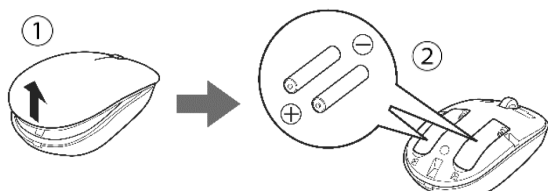
重要

- ▶ 周辺機器を接続しないでください。プリンター、USB メモリ、メモリーカードなどは、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。
- ▶ 必ず AC アダプタを接続してください。

1 Bluetooth マウスに電池を入れます。

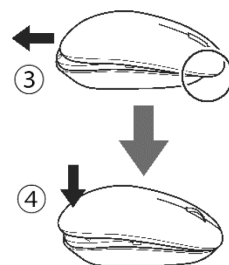
マウスが添付されていない機種をお使いの場合は手順 2 に進んでください。

①マウス上面部分を後方から持ち上げてフタを外し、②添付の単 4 形乾電池を入れます。



③フタをマウス本体の前方に少しはみ出すように載せ、ツメをひっかけながら、フタを後方にスライドさせます。フタの前方が浮く場合は、もう一度やり直してください。無理に取り付けると破損することがあります。ご注意ください。

④ツメがひっかかったら、フタの後方を上から軽く押します。



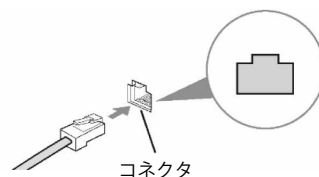
この後、パソコンの電源を入れて Bluetooth マウスの設定を完了させるとマウスを使えるようになります。

2 LAN ケーブルを接続します。

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルをパソコン側の LAN コネクタに接続し、もう一方をお使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。

Point

- ▶ コネクタ類の位置は「各部の名称について」 (→P.10) で確認してください。
- ▶ LAN ケーブルを接続するときは、パソコン本体の LAN コネクタを引き上げ (→P.10)、コネクタの向きを確認してしっかり差し込んでください。

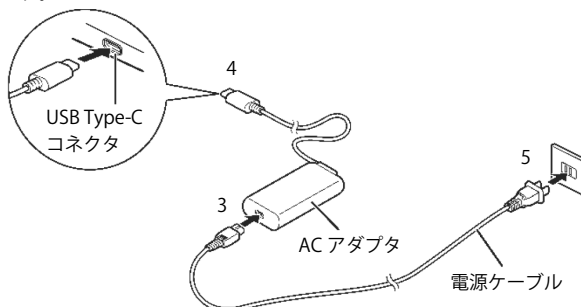


3 AC アダプタに電源ケーブルを接続します。

4 パソコン本体側面の USB Type-C コネクタ (→P.11) に接続します。

5 電源プラグをコンセントに接続します。

AC アダプタに突起がある場合は、その面を下にして設置します。

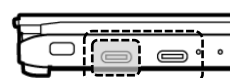


しっかり接続し、ゆるんだり抜けたりしないことを確認してください。

(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

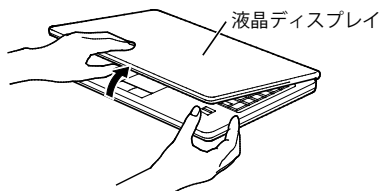
Point

- ▶ AC アダプタは、右図の枠内のコネクタに接続します。どちらに接続しても充電できますが、本体背面側のコネクタ (右図の) に接続することをお勧めします (もう一方のコネクタに接続した場合、このパソコンの設定によっては充電されない場合があります)。



6 パソコン本体のキーボード側と、ディスプレイ上部中央の枠の部分に図のように手を添えて開きます。

ディスプレイに無理な力を加えないように、ゆっくりと開いてください。



Windows のセットアップをする

Windows のバージョンにより、セットアップ手順（画面）が変更される場合があります。本書と違う画面が表示された場合は、画面の指示に従ってください。

ここで Microsoft アカウントを新規取得、またはお持ちの Microsoft アカウントでサインインします。

Microsoft アカウントは Windows を利用するために必須です。

1 電源ボタン (⏻) をポチッと押します。

電源ボタンの位置は「各部の名称について」(→P.10) をご覧ください。

2 画面に表示された注意事項をよくご覧になり、キーボードの【Y】キーを押します。

セットアップを中止する場合は、キーボードの【N】キーを押すと電源が切れます。再度セットアップを開始するときは、手順 1 から操作してください。

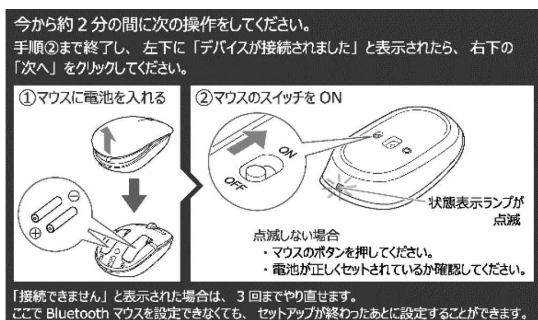
重要

- ▶ Windows のセットアップが終わるまで絶対に電源を切らないでください。途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。
- ▶ セットアップ中に「問題が発生しました やり直すことができます。」という画面が表示された場合は、「やり直す」をクリックしてください。次の手順に進むことができます。

Point

- ▶ しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。フラットポイントやキーボードを操作すると元の画面に戻ります。画面が戻らなかった場合は、電源ボタン (⏻) をポチッと押してください。

3 次の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



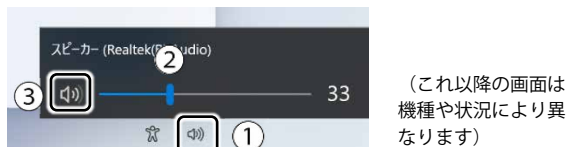
Point

- ▶ Bluetooth マウスの設定ができなかった場合は、セットアップが終わった後に設定できます。詳しくは、「Bluetooth マウスを設定する」(→P.31) をご覧ください。

4 「国または地域はこれよろしいですか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

Point

- ▶ 画面右下の①🔊をクリックし、②スライダーを左右に動かして音量を調節します。③🔊をクリックして🔇にするとミュート（音を消す）にできます。



5 「これは正しいキーボードレイアウトまたは入力形式ですか？」と表示されたら、「Microsoft IME」と表示されていることを確認し、「はい」をクリックします。

6 「2 つ目のキーボードレイアウトを追加しますか？」と表示されたら、「スキップ」をクリックします。

他の言語を入力できるようにしたい場合は「レイアウトの追加」をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

7 無線 LAN をお使いになる場合、「ネットワークに接続しましょう」という画面が表示されたら、ネットワークに接続します。

LAN ケーブルを接続している場合は、この画面は表示されません。

➡ 手順 10 に進んでください。

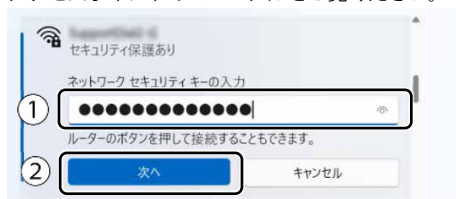


「無線 LAN でインターネット接続の準備をする」(→P.12) で確認したネットワーク名 (SSID) をクリックし、①「自動的に接続する」の ☐ をクリックして ☒ にし、②「接続」をクリックします。

8 「無線 LAN でインターネット接続の準備をする」

(→P.12) で確認した①「パスワード」を入力し、②「次へ」をクリックします。

「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント (ルーター) のボタンを押して接続できる場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



9 正しく設定できたか確認し、「次へ」をクリックします。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。

Point

- ▶ 「接続済み」と表示されなかった場合は、「無線 LAN でインターネット接続の準備をする」(→P.12)で確認した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 8 で入力したパスワードを確認してください。

10 「アップデートを確認しています。」と表示された場合は、しばらく待ちます。

インターネットに接続できた後、自動でアップデートを確認します。状況によっては時間がかかる場合があります。操作が必要な場合は、画面の指示に従って操作してください。
この後も、アップデートの画面が表示された場合は同様に操作してください。

11 「ライセンス契約をご確認ください。」という画面が表示されたら、よく読んでから「同意」をクリックします。

12 「デバイスに名前を付けましょう」という画面が表示されたら、「今はスキップ」をクリックします。

13 Microsoft アカウントについて説明する画面が表示されたら、「サインイン」をクリックします。

14 「Microsoft アカウントを追加しましょう」という画面が表示されたら、次のように操作します。

新規に Microsoft アカウントを作成する場合と、すでに Microsoft アカウントをお持ちの場合で、手順が異なります。

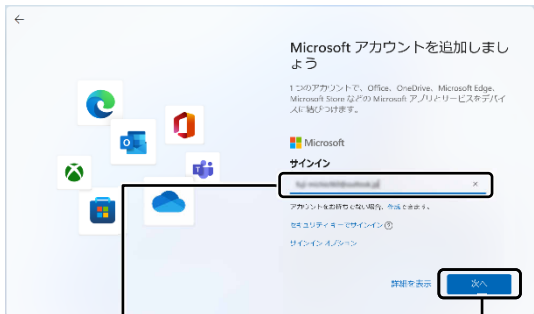
■ 新規に Microsoft アカウントを作成する場合

「作成」をクリックします。



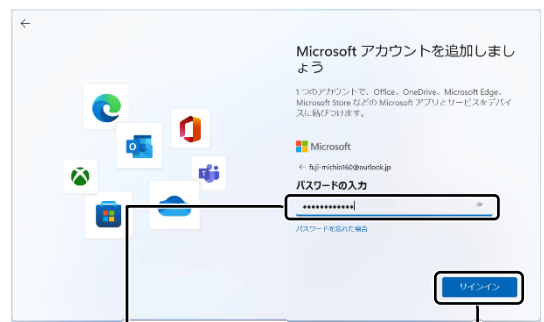
➡ 手順 15 に進んでください。

■ すでにお持ちの Microsoft アカウントでサインインする場合



① Microsoft アカウントを入力

② 「次へ」をクリック



③ パスワードを入力

④ 「サインイン」をクリック

Point

- ▶ 「保護の強化にご協力ください」という画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

➡ 手順 22 に進んでください。

15 「アカウントの作成」が表示されたら「新しいメールアドレスを取得」をクリックします。



Point

- ▶ Microsoft アカウントを新規作成するときは、すでにお使いのメールアドレスを使うのではなく、Microsoft アカウント専用のメールアドレスを取得し、Microsoft アカウントとしてお使いになることをお勧めします。プロバイダが提供しているメールアドレスを使うと、プロバイダの変更などでメールアドレスが使えなくなったときに問題が発生する場合があります。

16 ① Microsoft アカウントとして使いたい文字列を入力し、 ② 「次へ」をクリックします。

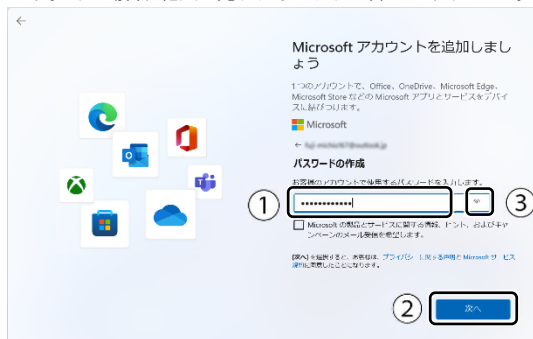


Point

- ▶ Microsoft アカウント (メールアドレス) として使いたい文字列を入力します。半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) およびピリオド (.)、ハイフン (-)、下線 (_) のみ使用できます。
- ▶ メールアドレス入力後、「既に使われています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力してください。

17 「パスワードの作成」が表示されたら、①他人に知られないようなパスワードを入力し、②「次へ」をクリックします。

※ スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、③🔍をクリックしてパスワードを表示し、写真を撮って残しておくのもお勧めです。その場合、他人に見られないように管理してください。

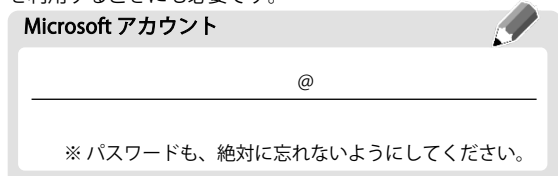


Point

- ▶ 安全性を高めるため、8文字以上で、半角英字の大文字と小文字（A～Z、a～z）、半角数字（0～9）、および半角記号を組み合わせて作成してください。

18 次の欄に手順 17 で作った Microsoft アカウントを記入します。

Windows のサインインのときや、マイクロソフト社のサービスを利用するときにも必要です。



※ 記入した情報は、第三者に漏れないように充分に注意して管理してください。

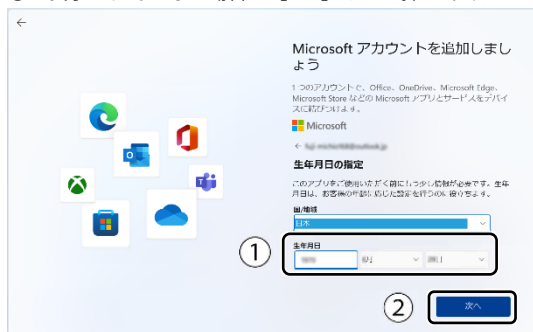
重要

- ▶ Microsoft アカウントはパソコンをお使いになるうえで大変重要です。絶対に忘れないようにしてください。Windows のサインインのときなどにも必要です。

19 「お名前を入力」が表示されたら、「姓」と「名」を入力し、「次へ」をクリックします。

20 ①年を入力し、月と日の▼をクリックして生年月日を選択し、②「次へ」をクリックします。

①が表示されていない場合は【Tab】キーを押してください。



※ 月日を選択するとき、スクロールがうまくできない場合は、【↑】【↓】キーを押して選択してください。

21 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができません。「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか1つを必ず入力してください。



■ メールアドレスを追加する場合

- ① 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できるメールアドレスを入力してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

■ 電話番号を追加する場合

「メールの追加」の▼をクリックし、「電話番号の追加」をクリックします。



- ① 携帯電話（スマートフォンを含む）の電話番号を入力します。本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できる電話番号を入力してください。
- ② 「次へ」をクリックします。

22 すでにお使いの Microsoft アカウントでサインインした場合、新しいデバイスとして設定するか、今まで使用していたデバイスの設定を復元するか選択します。

重要

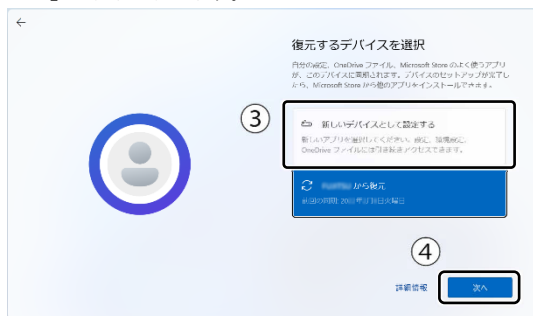
- ▶ このパソコンに「Office」が搭載されている場合は、「新しいデバイスとして設定する」を選択してください。



■ 新しいデバイスとして設定する

1. ①「他のオプションを表示」をクリックします。

2. ③「新しいデバイスとして設定する」をクリックし、④「次へ」をクリックします。



■ 今まで使用していたデバイスの設定を復元する

1. ②「次へ」(→P.15)をクリックします。

復元したいデバイスが表示されていない場合、①「他のオプションを表示」(→P.15)をクリックし、復元したいデバイスを選択してください。

- 23 指紋の登録を求められた場合は、「はい、セットアップします」をクリックし、画面の指示に従って登録します。



Point

- ここで指紋を登録せずに先に進みたいときは、「今はスキップ」をクリックしてください。セットアップ後に、 → (設定) → 「アカウント」 → 「サインインオプション」の順にクリックし、「Windows Hello」から設定してください。
- Windows Hello について、詳しくは『取扱説明書<活用ガイド>」(→P.1)の「使いこなすために」をご覧ください。

- 24 PIN を作成する画面が表示されたら、「PIN の作成」をクリックします。

PIN は、このパソコンでのみ Microsoft アカウントのパスワードの代わりに使えます(代わりに使えない場合もあります)。

- 25 4桁以上の数字を上段に入力し、下段にも同じ数字を確認入力し、「OK」をクリックします。

設定した PIN は絶対に忘れないようにしてください

Point

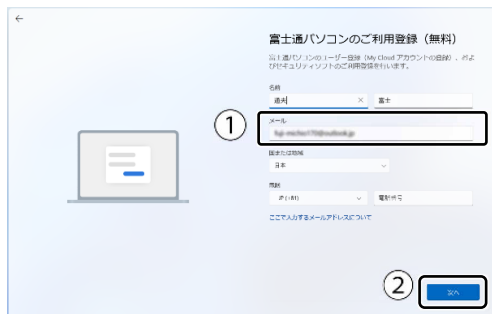
- 「英字と記号を含める」が表示されている場合は、☐をクリックして☒にすると、英字なども入力できるようになります。詳しくは「PIN の要件」をクリックして確認してください。
- PIN はアカウントの切り替え後に変更することもできます。 → (設定) → 「アカウント」 → 「サインインオプション」の順にクリックし、右側に表示された「PIN」から設定してください。
- スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、 をクリックし続けて PIN を表示し、写真を撮っておくのもお勧めです。その場合、他人に見られないように管理してください。

- 26 「デバイスのプライバシー設定の選択」と表示されたら、「次へ」を何回かクリックし、隠れている内容を確認し、「同意」をクリックします。

最後まで確認すると「次へ」が「同意」に変わります。

各項目の設定を変更できますが、特に設定を変更する必要はありません。

- 27 「富士通パソコンのご利用登録」が表示されたら、説明をよく読んで、ご利用登録をします。



- ① メールアドレスが入力されていることを確認します。

※My Cloud アカウントをお持ちの場合、My Cloud アカウントとして登録済みのメールアドレスを入力してください。このパソコンを簡単に追加登録できます。

- ② 「次へ」をクリックします。

- 28 「次へ」をクリックします。



Point

- 富士通のパソコンは、3年間無料で使えるセキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」と90日間無料で使えるネット詐欺対策ソフト「詐欺ウォール」を搭載しています。使用許諾契約に同意すると、この2つのソフトによるパソコンの保護が開始されます。セキュリティソフトとネット詐欺対策ソフトを同時にご利用ください。

- 29 「エクスペリエンスをカスタマイズしましょう」と表示されたら、「スキップ」をクリックします。

- 30 「PC から Android™ スマートフォンを使用する」という画面が表示された場合、「スキップ」をクリックします。

- 31 OneDrive に関する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。

Point

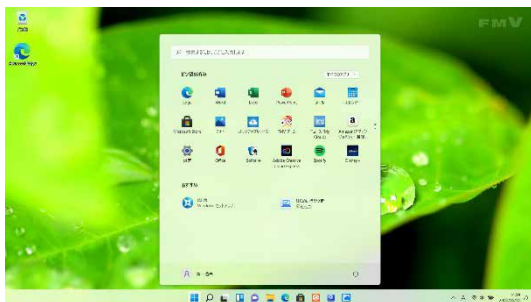
- OneDrive はオンラインでマイクロソフト社のストレージにデータを保存できるサービスです。設定はセットアップ後に変更できます。よくわからない場合は「ファイルのバックアップを行わない」を選択してください。
- 他に追加で設定する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

32 「Office がデバイスに付属しています」と表示された場合は、「OK」をクリックします。

33 更新プログラムの確認が行われ、画面が何度か変化します。そのままお待ちください。



次の画面（デスクトップ画面）が表示されたら、Windows のセットアップは完了です。



（デスクトップ画面）

ここでいったん、パソコンを再起動します。

34 → スタートメニュー右下の （電源）→ 「再起動」の順にクリックします。

35 ロック画面が表示されたら、【Enter】キーを押し、手順 25 で設定した PIN を入力します。

Point

- 指紋認証の設定をしている場合は、ロック画面が表示されているときに指紋センサーに指を乗せるだけで認証され、サインインできます。

デバイス暗号化の回復キーを保管する

一部のパソコンでは、Windows 11 に搭載されている「デバイスの暗号化」の機能が自動的に有効になり、内蔵ストレージが暗号化される場合があります。

暗号化が有効になった状態でパソコンにトラブルが発生すると、次のような場合に回復キーの入力を求められることがあります。

- 「この PC を初期状態に戻す（リカバリ）」でストレージを初期状態に戻すとき
 - 修理から戻ってきたパソコンの電源を入れたとき
- このような場合に備え、事前に回復キーを確認し、保管しておく必要があります。

■ デバイス暗号化が有効になっているか確認する

1 → （設定）→ 「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。

2 「デバイスの暗号化」の項目が表示されているか確認します。



■ 「デバイスの暗号化」の項目が表示されている場合は、お使いのパソコンは「デバイスの暗号化」が有効です。

➡ 「デバイス暗号化の回復キーを保管する」（→P.17）に進んでください。

■ 表示されていない場合は、お使いのパソコンは「デバイスの暗号化」は非対応です。

この後の「デバイス暗号化の回復キーを保管する」の手順を行う必要はありません。

➡ 「「アップデートナビ」の初期設定をする」（→P.18）に進んでください。

■ デバイス暗号化の回復キーを保管する

回復キーは、プリンターで印刷したり、USB メモリなどの外部ストレージに保管したりすることができます。また、他のパソコンやタブレットを利用し、マイクロソフト社のホームページから確認することもできます。ここでは、一度パソコンの中に PDF ファイルで保管し、回復キーを表示してメモする方法を説明します。

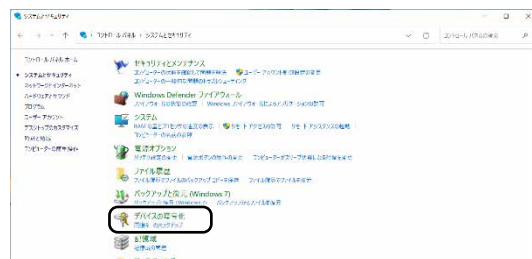
その他の方法については、FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「2211-2868」を検索してご覧ください。

Q&A ナンバー
2211-2868



1 → スタートメニュー右上の 「すべてのアプリ」→ 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

2 「システムとセキュリティ」→ 「デバイスの暗号化」の順にクリックします。



3 「回復キーのバックアップ」をクリックします。



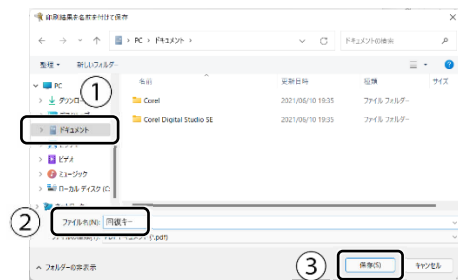
- 4 「回復キーのバックアップ方法を指定してください。」と表示されたら、「回復キーを印刷する」をクリックします。

Windows の印刷機能を使いますが、プリンターの接続や設定は必要ありません。

- 5 ①「Microsoft Print to PDF」を選択し、②「印刷」をクリックします。



- 6 ①「ドキュメント」をクリックし、②ファイル名の欄に「回復キー」と入力し、③「保存」をクリックします。

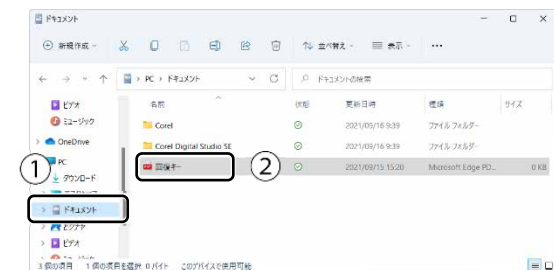


- 7 「回復キーが印刷されました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。

- 8 右上の ✕ をクリックし、ウィンドウを閉じます。

- 9 画面下の [エクスプローラー] をクリックします。

- 10 ①「ドキュメント」をクリックし、②「回復キー」をダブルクリックします。

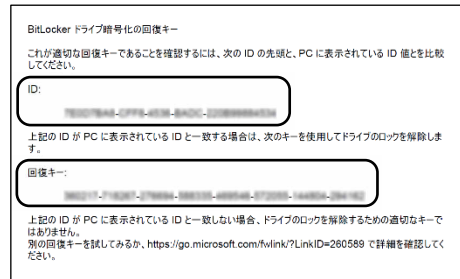


「Microsoft Edge」が起動し、回復キーが記載された PDF ファイルが表示されます。



- ▶ 「Microsoft Edge による」 というメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って「Microsoft Edge」のセットアップを完了させてください。

- 11 表示された回復キーを、下のメモ欄に書き写します。



書き写してください

ID :

回復キー :

●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※ 回復キーは、6桁×8の合計48桁の数字です。

※ スマートフォンやタブレットをお持ちの方は、写真を撮って残しておくのもお勧めです。その場合、他人に見られないように管理してください。

- 12 「Microsoft Edge」の右上の ✕ をクリックして閉じます。

「アップデートナビ」の初期設定をする

「アップデートナビ」を有効にすると、インターネットを経由して、ドライバやアプリの更新プログラムの有無を定期的にチェックして通知します。

更新するかどうか内容を確認し、簡単な操作でパソコンを最新の状態にできます。

- 1 [スタート] → 「すべてのアプリ」 → 「アップデートナビ」の順にクリックします。

「アップデートナビ」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。

- 2 「アップデートナビ」ウィンドウが表示されたら、✕ をクリックします。

「はじめに行う設定」で初期設定する

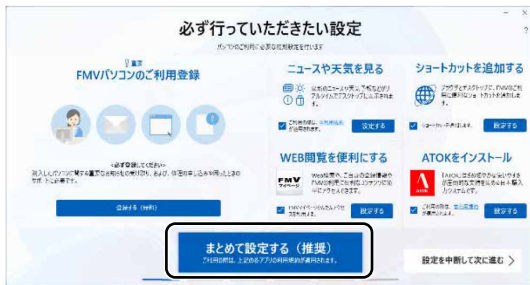
「はじめに行う設定」から、パソコンを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

- 1 [スタート] → 「おすすめ」の「はじめに行う設定」の順にクリックします。

「おすすめ」にない場合は、[スタート] → 「すべてのアプリ」 → 「はじめに行う設定」の順にクリックします。「はじめに行う設定」が見つからないときは画面をスクロールしてください。

- 2 「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。

3 「まとめて設定する」をクリックします。



Point

- ▶ 各項目の「登録する」や「設定する」をクリックして、項目ごとに設定することもできますが、まとめて設定することをお勧めします。
- ▶ パソコンを再起動したときに「はじめて行う設定」が自動起動される場合があります。すべての設定を実行した場合は、「次回から「はじめて行う設定」を自動起動しない」の☐をクリックして☒にしてから、「はじめて行う設定」を終了すると、次回から自動起動しくなくなります。

4 FMV パソコンのご利用登録を行います。

画面の指示に従って、FMV パソコンのユーザー登録または製品情報の追加登録を行います。



Point

- ▶ メールアドレスは Windows のセットアップ中の「富士通パソコンのご利用登録」(→P.16) でご登録いただいたメールアドレスが表示されます。
- ▶ 「富士通パソコンのご利用登録」(→P.16) で My Cloud アカウントとして登録済みのメールアドレスを入力した場合は、ログイン画面が表示されます。パスワードを入力してログインして、画面の指示に従って操作してください。

ユーザー登録とは

ご購入されたパソコンとお客様の情報を、富士通に登録していただくことです(入会費・年会費無料)。
ユーザー登録をすると、保証開始日[注]から1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます。

注：パソコン本体に初めて電源を入れた日

発行されたユーザー登録番号[注]と My Cloud ID として設定したメールアドレスを記入しましょう。

注：ユーザー登録番号はお問い合わせや修理依頼のときに必要です。

ユーザー登録番号

メールアドレス (My Cloud ID)

@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※記入した情報は、第三者に漏れないように十分に注意して管理してください。

5 FMV パソコンのご利用登録を最後まで進めて「登録を完了する」をクリックします。

「Microsoft Edge」が起動します。

Point

- ▶ 「Microsoft Edge によろこそ。」というメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って「Microsoft Edge」のセットアップを完了させてください。

6 画面右上に「Microsoft Edge に“FMV マイページかんたんアクセス”が追加されました」という画面が表示されたら、「拡張機能をオンにする」をクリックします。



この後は「Microsoft Edge」画面右上の×をクリックして閉じてください。

Point

- ▶ 「FMV マイページかんたんアクセス」については FMV サポートページ (→P.24) から Q&A ナンバー「3811-2505」を検索してご覧ください。

「Microsoft Edge に“FMV マイページかんたんアクセス”が追加されました」という画面が表示されなかつたり消えてしまったりした場合は、次のように操作してください。

1. 「Microsoft Edge」を起動し、画面右上の「…」をクリックし、表示されたメニューから「拡張機能」をクリックします。
2. 「拡張機能の管理」をクリックします。
3. 「FMV マイページかんたんアクセス」の ☐ (オフ) をクリックして ☒ (オン) にします。



Q&A ナンバー
3811-2505



4. 「拡張機能をオンにする」をクリックします。



7 設定が完了した項目に「完了しました」と表示されたら、「次に進む」をクリックします。



8 「必ず行っていただきたい設定」などパソコンのご利用に必要な初期設定が表示されたら読み進めます。

興味のある項目は「詳しく見る」や「確認する」をクリックしてください。
画面右下の「次に進む」をクリックし、すべてのメニューをご覧ください。

9 次の画面が表示されるまで読み進め、「はじめに行う設定を完了する」をクリックします。



10 「ATOK」のインストール」ウィンドウが表示された場合は、「「ATOK」をインストールします。」をクリックします。

「ATOK」のインストールが開始されます。しばらくお待ちください。

11 「ATOK」のインストールを完了するには、パソコンを再起動する必要があります。」と表示された場合は、「はい」をクリックします。

パソコンが自動で再起動し、再起動後に「ATOK」が使えるようになります。



▶ ATOKのインストールをキャンセルした場合は、 →  (電源) → 「再起動」の順にクリックし、再起動してください。

「詐欺ウォール」の初期設定をする

お客様を、ネット詐欺から守るために、「詐欺ウォール」の設定をしてください。

「詐欺ウォール」は「Microsoft Edge」などのブラウザでご利用いただけるバックグラウンド常駐型の「ネット詐欺」専用セキュリティソフトです。

FMV サポートページ (→P.24) では画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じて Q&A ナンバー「2611-2482」を検索してご覧ください。

Q&A ナンバー
2611-2482



1  → 「すべてのアプリ」 → 「詐欺ウォール」の順にクリックします。

「詐欺ウォール」が見つからない場合は画面をスクロールしてください。

2 「詐欺ウォール使用許諾契約書」ウィンドウが表示された場合は、「使用許諾に同意する」をクリックします。

3 「富士通 FMV ユーザー限定」という画面が表示された場合は、「体験版を開始する」をクリックします。



4 「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。

5 「詐欺ウォールのインストールが完了しました。」というメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

6 「Microsoft Edge」が起動したら、画面の表示に従って、拡張機能を設定します。

「かんたんアクセスのインストール／アップデートが完了しました」と表示されたら、設定完了です。



▶ 設定方法がわからない場合は、詐欺ウォールサポートセンターまでお問い合わせください (→P.24)。

これでセットアップは完了です。

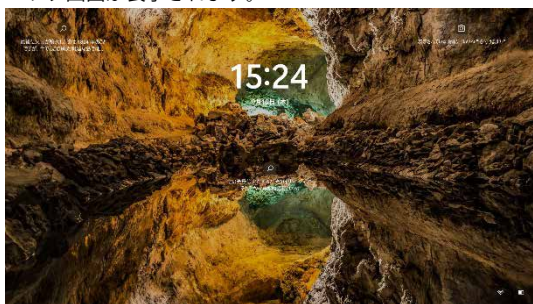
パソコンの始め方と終わり方

セットアップが完了した後、作業を中断したり、しばらく使用しないときの操作方法です。

■ パソコンの始め方

1 パソコン本体の電源ボタン (⏻) をポチッと押します。

ロック画面が表示されます。



(画面は機種や状況により異なります)

Point

- ▶ 指紋認証の設定をしている場合は、ロック画面が表示されているときに指紋センサーに指を乗せるだけで認証され、サインインできます。

2 【Enter】キーを押し、PIN を入力し、Windows にサインインします。

「Windows のセットアップをする」の手順 25 (→P.16) で設定した PIN です。

■ パソコンの終わり方

□ 普段の終わり方

1 パソコン本体の電源ボタン (⏻) をポチッと押して「スリープ」にします。

素早く作業を再開できます。

Point

- ▶  →  (電源) → 「スリープ」の順にクリックしてスリープにすることもできます。

その他の方法などについて詳しくは  『取扱説明書＜活用ガイド＞』 (→P.1) をご覧ください。

□ しばらく使わないときの終わり方

1 → (電源) → 「シャットダウン」の順にクリックします。

詳しくは  『取扱説明書＜活用ガイド＞』 (→P.1) の「取り扱い」をご覧ください。

使い始める

回復ドライブ (リカバリ用) を作成する

回復ドライブ (リカバリ用) を作成しておくことで、Windows が起動しないなど、パソコンに問題が発生したときに、修復できる場合があります。できるだけ早く作成することをお勧めします。FMV サポートページでは画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じて FMV サポートページ (→P.24) から Q&A ナンバー「8511-2867」を検索してご覧ください。

Q&A ナンバー
8511-2867



● 32GB 以上の容量を持つ USB メモリを用意してください

- ・容量が 32GB に満たない USB メモリを複数用意しても作成できません。また、Blu-ray Disc や DVD には作成できません。
- ・セキュリティ機能付やハードウェア暗号化機能付など、一部の USB メモリの中には、Windows 11 の回復ドライブ (リカバリ用) の作成に対応していないものがあります。また、作成できた場合も、回復ドライブ (リカバリ用) からの復元時に起動できない場合があります。ご購入時に、回復ドライブ (リカバリ用) の作成に対応しているか確認してください。
- ・回復ドライブ (リカバリ用) を作成すると USB メモリ内のデータはすべて削除されます。
- ・必要なデータは事前にバックアップしてください。
- ・回復ドライブ (リカバリ用) を作成後に、データを追加したり、他の用途に使ったりすることはできません。

■ 回復ドライブ (リカバリ用) を作成するうえでの注意

- 回復ドライブ (リカバリ用) の作成に使用する USB メモリ以外の、USB メモリや外付けハードディスクは、必ず取り外してください
接続したまま操作すると、大切なデータが消去されてしまう可能性があります。
- 管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください
セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。
- 作成した回復ドライブ (リカバリ用) は紛失しないよう大切に保管してください
- 必ず AC アダプタを接続してください

■ 回復ドライブ (リカバリ用) の作成手順

- 1  → 「すべてのアプリ」→ 「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。
見つからないときは、画面をスクロールしてください。
- 2 「システムとセキュリティ」→ 「セキュリティとメンテナンス」→  回復 → 「回復ドライブの作成」の順にクリックします。
「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」をクリックします。
- 3 「回復ドライブの作成」という画面が表示されたら、「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」をクリックして  にし、「次へ」をクリックします。
- 4 「USB フラッシュドライブの接続」という画面が表示されたら、パソコンの USB コネクタに 32GB 以上の USB メモリを接続します。
- 5 「USB フラッシュドライブの選択」という画面が表示されたら、「使用可能なドライブ」欄に USB メモリを接続したドライブが表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。
- 6 「作成」をクリックします。
回復ドライブ (リカバリ用) の作成が完了するまで、しばらく待ちます。
- 7 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をクリックします。

Office を利用する

■ 初めて使うときの設定

「Word」や「Excel」、「Outlook」（メールアプリ）などの Office の製品は、初めてお使いになるときにインターネットに接続して設定を行う必要があります。設定方法は FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「5911-2869」を検索してご覧ください。

Q&A ナンバー
5911-2869



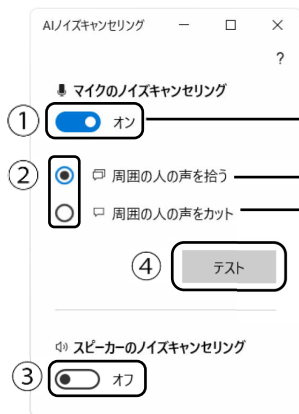
■ Office 製品のお問い合わせ先

使い方がわからないときは、「アプリの使い方」（→P.24）をご覧ください。日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

「AI ノイズキャンセリング」を使う

マイクやスピーカー、ヘッドセットからノイズをカットし、オンライン通話アプリなどの音声品質を向上させることができます。オンライン通話などでペットの鳴き声や生活音が相手に聞こえていないか気になる方にお勧めの機能です。初期設定をして快適にオンライン通話をしましょう。

- 1 → 「すべてのアプリ」 → 「AI ノイズキャンセリング」の順にクリックします。
- 2 「AI ノイズキャンセリング」ウィンドウが表示されたら、「始める」をクリックします。
- 3 マイクのノイズキャンセリングが① （オン）になっていることを確認し、② どちらかお使いの環境を選択します。
通話相手の音声からノイズをカットしたい場合は、スピーカーのノイズキャンセリングの③ （オフ）をクリックし、（オン）にします。



オンにするとキーボードをたたく音や、周りの声を除去するので、こちらの声が相手に聞こえやすくなります。

複数人でこのパソコンのマイクを使う場合や、外付けヘッドセットなどを使う場合に適しています。

一人でこのパソコンのマイクを使う場合に適しています。

Point

- ▶ ノイズキャンセリングした音声は通話相手にどのように聞こえるかテストできます。④「テスト」をクリックして表示された画面で「録音中」と表示されているときに話してください。しばらくすると、相手に聞こえるのと同じように再生されます。

- 4 をクリックしてウィンドウを閉じます。

Point

- ▶ 「AI ノイズキャンセリング」を起動し初期設定した後は、画面右下の をクリックして設定を変更できるようになります。状況に合わせていつでも変更できます。

家族のパソコンやスマホを守る

富士通のパソコンは、3 年間無料で使えるセキュリティソフト「マカフィー リブセーフ」が入っています。すべての機能を利用するためには、メールアドレスの登録が必要です。

重要

- ▶ メールアドレスを登録する前に、「マカフィー リブセーフ」をアンインストールすると、3 年間無料で使える権利がなくなります。
- ▶ アプリは最新の状態にしてお使いください。
- ▶ 契約情報の画面で残り日数が 30 日になっている場合は、インターネットに接続してしばらくお待ちください。
- ▶ Windows のセットアップ中の「富士通/パソコンのご利用登録」（→P.16）でメールアドレスを登録していない場合は、次の手順でメールアドレスを登録してください。

1. → 「すべてのアプリ」 → 「マカフィー リブセーフ」の順にクリックします。
「マカフィー リブセーフ」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。
2. 「マカフィー製品をご利用いただきありがとうございます」と表示されたら、「開始」をクリックします。
3. 画面左の → 「契約情報」 → 「マイアカウントに移動する」の順にクリックします。
4. 登録したいメールアドレスを入力して、「続ける」をクリックします。
5. 「完了」をクリックします。
メールアドレスを登録すると、マカフィーからメールが届きます。メールをお読みになり、登録を完了させてください。

家族みんなのパソコン、スマートフォンやタブレットなどのデバイスを「マカフィー リブセーフ」で守ることができます。何台でも追加料金は不要です。

- お客様が所有し、個人的に使用するデバイスまたは同居するご家族のデバイスを、契約期間中、保護します。
- 提供される機能は OS によって異なります。

Q&A ナンバー
9610-5240



「マカフィー リブセーフ」については、FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「9610-5240」を検索してご覧ください。
また、「マカフィー リブセーフ」の使い方については「アプリの使い方」（→P.24）をご覧ください。なりマカフィー株式会社にお問い合わせください。

■ 家族みんなのデバイスに、「マカフィー リブセーフ」をインストールする

- 1 → 「すべてのアプリ」 → 「マカフィー リブセーフ」の順にクリックします。
「マカフィー リブセーフ」が見つからないときは、画面をスクロールしてください。
- 2 「マカフィー製品をご利用いただきありがとうございます」と表示されたら、「開始」をクリックします。
- 3 画面左の → 「他のデバイスを保護する」の順にクリックし、表示された画面で「メールアドレス」をクリックしてチェック します。
- 4 保護したいデバイスで受信できるメールアドレスを入力し、「リンクの送信」をクリックします。
- 5 保護したいデバイスで受信したメールを開き、該当の OS の「保護する」をクリックします。

6 この後は画面の指示に従って「マカフィー リブセーフ」をインストールしてください。

■ 他のウイルス対策アプリを利用する場合

「マカフィー リブセーフ」をアンインストールする必要があります。アンインストール方法は FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「9410-5202」を検索してご覧ください。

「富士通アドバイザー」を活用する

パソコンを安心・快適にお使いいただくためのさまざまな情報を入手できます。

1 タスクバーの （富士通アドバイザー）をクリックします。

型名、製造番号、保証開始日、Windows 11 のエディションとバージョン



Point

- ▶ 利用規約が表示された場合、「同意する」をクリックしてください。「同意する」が隠れている場合は、ウィンドウを広げてから「同意する」をクリックしてください。
- ▶ 「更新プログラムを今すぐダウンロードしてインストールしますか？」というメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。更新が完了したら「富士通アドバイザー」を起動しなおしてください。

■ サポート＆サービス情報

画面左側の「サポート＆サービス情報」をクリックすると、受信したお知らせが表示されます。

● 使い始めの時期のお役立ち情報

Windows 11 の基本的な使い方、古いパソコンやタブレットからのデータの移行方法などの、使い始めの時期に役立つ情報をお知らせします。

● 緊急のお知らせ

Windows やアプリのセキュリティ危機、障害などが発生したときに、対処方法をお知らせします。

Point

- ▶ 新しくお知らせを受信すると、画面右端からメッセージが表示されます。「詳細を見る」などをクリックすると、「富士通アドバイザー」が起動して、詳細を確認できます。「閉じる」をクリックすると、メッセージは消えますがバッジは残ります。もう一度クリックするとメッセージを再表示することができます。



バッジ

- ▶ バッジなしの場合やメッセージが消えてしまったときは、タスクバーの （富士通アドバイザー）をクリックして「富士通アドバイザー」を起動してください。

■ トラブル解決

画面左側の「トラブル解決」をクリックすると、パソコンでよくあるトラブル（起動・終了時、Windows、アプリ関連など）についての Q&A をご覧いただけます。

■ 機種別サポート情報・ダウンロード

画面左側の「機種別サポート情報・ダウンロード」をクリックすると、お使いの機種の最新のドライバーやマニュアルを公開しているページを表示できます。

『取扱説明書<活用ガイド>』以外のマニュアルがある場合は、このページからダウンロードできます。

『ソフ得』ソフト使い放題

「『ソフ得』ソフト使い放題」は、100 種類以上、総額 40 万円相当のアプリが、月額 550 円（税込）で使い放題になる大変便利なサービスです。お申し込みいただくとすぐに、使いたいアプリを使いたいときに、いくつでもダウンロードして使用できます。

■ こんなアプリが使えます

- ・パソコン高速化ソフト「Wise Care 365 Pro」
- ・動画ダウンロードソフト「動画ダウンロード保存 6」
- ・パソコンゲーム「IT 麻雀 2」
- ・写真編集ソフト「かんたん写真編集 5」 など…
(2022 年 11 月時点取り扱いアプリ)

使用できるすべてのアプリや使い方の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://azby.fmwworld.net/bm/st3/>

Point

- ▶ ご利用にあたっては、インターネットへの接続、および My Cloud アカウント（→P.19）が必要です。

■ 使い放題ツール（インストールは無料です）

「『ソフ得』ソフト使い放題」をご利用になるには、「使い放題ツール」が必要になります。

「使い放題ツール」では、サービスへのお申し込み、アプリのインストール、インストールしたアプリの管理を行います。

1 タスクバーの （@メニュー）をクリックします。

- ①「アプリ・サービス」→②「パソコン活用」→③「目的でさがす」→④「定額でさまざまなソフトが使える」→『『ソフ得』ソフト使い放題』の⑤「実行する」の順にクリックします。



- 3 「ソフト使い放題 セットアップ セットアップ」ウィンドウが表示されたら、「次へ」をクリックし、その後は画面の指示に従って「ソフト使い放題 セットアップ」をインストールします。

- 4 デスクトップの （ソフト使い放題 セットアップ）をダブルクリックし、その後は画面の指示に従って「使い放題ツール」をインストールします。

バックアップする

万が一なんらかの原因で、Windows がうまく起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータは予備を保存しておくことをお勧めします。

■ C ドライブバックアップガイド

「FMV-C ドライブバックアップガイド」では、システムイメージバックアップという C ドライブをバックアップ／復元できる Windows 11 の機能などについて説明しています。

1 → 「すべてのアプリ」 → 「FMV-C ドライブバックアップガイド」の順にクリックします。

見つからないときは、画面をスクロールしてください。
システムイメージバックアップやその他のバックアップ方法を組み合わせて、忘れずにバックアップをとりましょう。

困ったときは

使い方がわからない、電源が入らない、動作がおかしいときなどの解決手段をご案内します。

動作がおかしい

Windows が起動するのに、キーボードやマウスが使えなくなったり、各種メッセージが表示されたりするなど急に動作がおかしくなった場合は、次の順序で確認しましょう。

1 再起動する

再起動することで解決する場合があります。

1.  →  (電源) → 「再起動」の順にクリックします。
しばらくすると、Windows が再起動します。

2 富士通アドバイザーの「トラブル解決」を見る

3 FMV サポートページを見る

<https://azby.fmworld.net/support/>

最新のお問い合わせ内容をもとに、様々なトラブル解決方法をご案内しています。

4 パソコンを以前の状態に戻す (→P.27)

5 「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」に相談する (→P.27)

使い方がわからない

■ 本製品の取り扱い方法や使い方

 『取扱説明書＜活用ガイド＞』 (→P.1) で説明しています。

■ アプリの使い方

アプリの提供会社にお問い合わせください。ホームページなどに、活用事例や Q&A 事例などが掲載されている場合もあります。
※ 搭載されているアプリは、お使いの機種により異なります。

☐ 「Word」や「Excel」、「Outlook」 (メールアプリ) などの Office 製品のお問い合わせ先

● Office Home & Business 2021 Office Professional 2021

「Excel」、「OneNote」、「Outlook」、「PowerPoint」、「Word」、「楽しもう Office」のお問い合わせ先はこちらです。
日本マイクロソフト株式会社 マイクロソフト サポート窓口
URL : <https://aka.ms/online>

☐ ウイルス対策アプリのお問い合わせ先

● マカフィー リブセーフ

※マカフィー リブセーフの有効期限まで、サポートいたします。

マカフィー株式会社 カスタマーサポートセンター

電話 : 0570-000-500

受付時間 : 9:00~21:00 (年中無休)

URL : <https://www.mcafee.com/support/?locale=ja-JP>

チャット : [https://www.mcafee.com/support/](https://www.mcafee.com/support/?page=shell&shell=contact-support)

[?page=shell&shell=contact-support](https://www.mcafee.com/support/?page=shell&shell=contact-support)

☐ その他のアプリのお問い合わせ先

本製品に搭載されているアプリで、次のアプリ以外は弊社がサポートいたします。

● Corel® PaintShop® Pro 2022 SE

● WinZip® 24 試用版

コーレル株式会社 コーレルサポートセンター

電話 : 0570-003-002 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00 ~ 12:00、13:30 ~ 17:30 (土・日・祝日・指定休業日を除く)

URL (Corel® PaintShop® Pro 2022SE) :

<https://www.corel.com/jp/support/>

URL (WinZip® 24 試用版) : <https://www.winzip.com/en/support/>

● CyberLink Power Media Player 14

● PowerDirector 19

サイバーリンク株式会社 サイバーリンクカスタマーサポート

電話 : 0570-080-110 (ナビダイヤル)、

03-5205-7670 (一部の IP 電話から)

受付時間 : 10:00 ~ 13:00、14:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・特別休業日を除く)

URL : <https://jp.cyberlink.com/support/index.html>

● Google Chrome ブラウザ

Google LLC Google Chrome ヘルプセンター

URL : <https://support.google.com/chrome/>

● i-フィルター

※試用期間中、サポートいたします

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

電話 : 0570-00-1334

受付時間 : 10:00~18:00 (指定休業日を除く)

URL : <https://www.daj.jp/faq/>

お問い合わせフォーム : <https://www.daj.jp/ask/>

● Learn to Speak English X3

LTS 株式会社 ユーザーサポート窓口

E メール : fujitsu@elanguage.com

● 詐欺ウォール / Internet SagiWall

BB ソフトサービス株式会社 詐欺ウォールサポートセンター

電話 : 03-6683-6236

受付時間 : 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日、指定休業日を除く)

問い合わせ Web フォーム :

<https://bbsoft.bbss.co.jp/contact/inquiryInputSw.do>

体験期間中サポートいたします。

● ソフト使い放題

株式会社オプティム ソフ得 ソフト使い放題サポートセンター

FAQ : [https://azby.fmworld.net/monthly/](https://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited)

[faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited](https://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited)

お問い合わせフォーム : <https://www.optim.co.jp/contents/12049>

ご契約中のお客様はお電話での問い合わせも可能です。

電話 : 050-3816-6964

受付時間 : 9:00 ~ 18:00 (年中無休)

● 筆ぐるめ 30

富士ソフト株式会社 筆ぐるめ インフォメーションセンター
電話（ナビダイヤル）：0570-550-211
（IP 電話の場合：03-5638-6139）
受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00
（土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く／11月1日から12月30日までは無休（12月30日は12:00まで））
URL：https://fudegurume.jp/ Eメール：users@fsi.co.jp

故障かなと思ったら

電源が入らない、電源は入っても画面に何も映らないなど、Windows が起動しない場合は、次の手順で確認しましょう。

- 1 よくあるトラブルと解決方法（→P.25）
- 2 富士通ハードウェア診断ツールを使う（→P.26）
- 3 パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）（→P.28）
- 4 お問い合わせ窓口にご相談する（→P.27）

■ よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（パソコンや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？
また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- パスワードや PIN を正しく入力していますか？
Microsoft アカウントのパスワードや PIN を間違えると Windows が起動しません。セットアップ時に設定したパスワード（→P.15）や PIN（→P.16）を正しく入力してください。

□ 起動・終了時のトラブル

電源が入らない

[原因]	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されていない
[対処]	電源ケーブルや AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（→P.12）。
[原因]	バッテリー残量が少ない
[対処]	AC アダプタを接続し、バッテリーを充電してください。
[原因]	上記の対処で解決しない
[対処]	AC アダプタをいったん取り外し、OFF ボタン（→P.25）を押した後、再び AC アダプタを取り付けてください。OFF ボタンを押した後、AC アダプタを接続しないとパソコンの電源が入りません。

画面に何も表示されない

[原因]	外部ディスプレイのみに表示する設定になっている
[対処]	【Fn】キーを押しながら【F10】キーまたは【Windows】キーを押しながら【P】キーを押して、表示先を切り替えてください。
[原因]	画面が暗すぎる
[対処]	【Fn】キーを押しながら【F7】キーを押して、画面を明るくしてください。
[原因]	ディスプレイのバックライトが消灯している
[対処]	何かキーを押してください。
[原因]	スリープや休止状態になっている
[対処]	電源ボタンを押してください。

[原因]	上記の対処で解決しない
[対処]	電源ボタンを 10 秒以上押し続けて電源を切ります。その後、10 秒以上待ってから、電源を入れ直してください。電源ボタンを押しても電源が切れないときは、AC アダプタを取り外してから、OFF ボタンを押してください（→P.25）。なお、保存されていない作業中のデータは失われます。

Windows が起動しない

[原因]	周辺機器が正しく取り付けられていない
[対処]	周辺機器のマニュアルをご覧ください。正しく取り付けられているか確認してください。
[原因]	上記の対処で解決しない
[対処]	ハードウェアの診断を行ってください（→P.26）。

電源が切れない

[原因]	Windows が正しく動いていない
[対処]	次の手順で Windows を終了させてください。ストレージが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、ストレージが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【Delete】キーを押す。 2. 【Tab】キーで画面右下の  を選択して【Enter】キーを押す。 3.カーソルキーで「シャットダウン」を選択して【Enter】キーを押す。
[原因]	フラットポイントやマウスが使えない。
[対処]	次の手順で、Windows を終了させてください。 1. 【Windows】キーを押す。 2. スタートメニューの左下のアカウント名が選択されるまで【Tab】キーを押す。 3.カーソルキーで  （電源）を選択して【Enter】キーを押す。 4.カーソルキーで「シャットダウン」を選択して【Enter】キーを押す。
[原因]	上記の対処で解決しない
[対処]	電源ボタンを 10 秒以上押し続けて電源を切ります。電源ボタンを押しても電源が切れないときは、AC アダプタを取り外してから、OFF ボタンを押してください（→P.25）。なお、保存されていない作業中のデータは失われます。

Point

▶ OFF ボタンについて

電源ボタンで電源が切れなくなったときは、パソコン本体下面の OFF ボタン（→P.11）を使用します。AC アダプタを取り外し、クリップの先などを差し込んで押すと、パソコンの電源が切れます。OFF ボタンを使用するときは、次の点にご確認ください。

- ・クリップの先などを差し込むときは、できるだけ垂直に、堅い物を押す感覚があるところまで差し込んでください。
- ・OFF ボタンで電源を切った後、最初にパソコンの電源を入れるときには、必ず AC アダプタを接続した状態で電源ボタンを押してください。AC アダプタを接続しないとパソコンの電源が入りません。AC アダプタを持たずに外出したときなど、AC アダプタを利用できない状況ではご注意ください。

□ ディスプレイのトラブル

画面に何も表示されない

[対処]	「起動・終了時のトラブル」の「画面に何も表示されない」をご覧ください。
------	-------------------------------------

画面が急に表示されなくなった

[原因]	パソコンが磁気に応じ、スリープや休止状態になった
[対処]	磁気の発生するものを遠ざけ、電源ボタンを押してください。

□ Bluetooth マウスのトラブル（マウス添付機種のみ）

マウスが使えない	
[原因]	パソコン本体の無線通信機能の電波が発信されていない
[対処]	機内モードがオフになっていることを確認してください。詳しくは、  『取扱説明書＜活用ガイド＞』（→P.1）の「使いこなすために」－「通信」－「無線 LAN」をご覧ください。
[原因]	電池が正しくセットされていない、または電池が切れている
[対処]	「パソコンの準備をする」（→P.12）をご覧ください。電池を正しくセットしてください。
[原因]	マウスの電源が入っていない
[対処]	マウスの底面の電源スイッチを ON にしてください。
[原因]	Bluetooth マウスが正しく認識されていない
[対処]	機内モードをオンにした後、再度、機内モードをオフにしてください。それでも認識されない場合は、「Bluetooth マウスを設定する」（→P.31）をご覧ください。になり、パソコンに再認識させてください。

■ 「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

ここまでの内容を確認しても解決しない場合、富士通ハードウェア診断ツールを使います。このパソコンのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイなど）に問題がないか自動で診断します。簡易診断、詳細な診断の 2 段階で診断を行います。

- パソコン本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
- 診断したいハードウェアを選択できます。
- 診断時間は 5～20 分程度です（診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります）。
- 「富士通ハードウェア診断ツール」は、キーボードで操作します。

1 BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→P.26）。

2 USB メモリや外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

3 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

4 【F12】キーを押しながら、パソコンの電源を入れ、音が鳴ったら、【F12】キーから指を離します。音が鳴らなくても、起動メニューが表示された場合は、【F12】キーから指を離します。

起動メニューが表示されます。

5 キーボードの【Tab】キーを押して、画面を切り替えます。

6 メニューが表示されたら、【↓】キーを押して、「診断プログラム」を選択し、【Enter】キーを押します。

7 「診断プログラムを実行しますか？」と表示されたら、【Y】キーを押します。

簡易診断が始まります。診断が終了すると、診断結果が表示されます。

- ・エラーコードが表示された場合
メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、【Y】キーを押してパソコンの電源を切ってください。
- ・問題がない場合
【Enter】キーを押して、次の手順に進んでください。

8 表示された注意事項をよく読み、「OK」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面が表示されます。

9 「診断」タブをクリックします。

診断したいアイコンにチェックが付いていることを確認します。
内蔵ストレージを診断する場合は、次の操作を行ってください。

1. 「ハードディスク」のアイコンを右クリックします。
2. 表示された画面で、「ディスク 0」にチェックが付いていることを確認します。
3. 「OK」をクリックします。

10 「実行」をクリックします。

診断が始まります。

 Point

- ▶ 診断を取りやめる場合は「キャンセル」をクリックしてください。

11 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

- ・エラーコードが表示された場合
メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。
- ・問題がない場合
手順 14 まで行った後、「パソコンを以前の状態に戻す」（→P.27）に進んでください。

12 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面に戻ります。

13 「終了」をクリックします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

14 「はい」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

■ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

1 USB メモリや外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。

2 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります（→P.30）。

3 【F2】キーを押しながら、パソコンの電源ボタンを押します。

4 音が鳴ったら、【F2】キーから指を離します。音が鳴らなくても、BIOS の画面が表示された場合は、【F2】キーから指を離します。

BIOS の画面が表示されます。

 Point

- ▶ Windows が起動してしまった場合は、手順 2 から操作をやり直してください。
- ▶ BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 10 秒以上押し続けて電源を切り、10 秒以上待った後、手順 3 から操作をやり直してください。

5 【←】キー、【→】キー、【↑】キー、または【↓】キーで「終了」メニュー→「標準設定値を読み込む」の順に選んで【Enter】キーを押します。

6 「はい」を選んで【Enter】キーを押します。

7 「変更を保存して終了する」を選んで【Enter】キーを押します。

8 「はい」を選んで【Enter】キーを押します。

BIOS セットアップについて詳しくは、『取扱説明書<活用ガイド>』（→P.1）の「使いこなすために」－「BIOS の設定」をご覧ください。

■ パソコンを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットの Q&A でも解決できなかった場合は、パソコンが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したデータや設定が削除されてしまう場合があります。現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、次の説明の参照先に記載された注意事項を必ず確認したうえで行ってください。このパソコンでは 2 つの方法でパソコンを以前の状態に戻すことができます。

● 「システムイメージバックアップ」から復元する

「システムイメージバックアップ」を作成している場合、作成した時点に戻すことができます。バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。

詳しくは、 → 「すべてのアプリ」 → 「C ドライブバックアップガイド」をご覧ください。

● この PC を初期状態に戻す（リカバリ）

「システムイメージバックアップ」を作成していない場合は、Windows 11 の機能「この PC を初期状態に戻す」を使い、パソコンをリカバリできます。ご購入時に近い状態に戻るため、現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、設定を復元したりするなど、大変手間がかかる場合があります。詳しくは、「パソコンを初期状態に戻す（リカバリ）」（→ P.28）をご覧ください。

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！

便利で簡単にご利用できます。

※最新の情報は FMV サポートページ

(<https://azby.fmwworld.net/support/>) でご確認ください。



“チャット”で相談する

Web チャットと LINE 公式アカウント

「富士通 FMV」でご相談ができます。

使い方のアドバイスやお困りごとの解決方法、窓口のご紹介を自動応答にて回答いたします。なお、ご相談内容によっては、オペレーターが対応いたします。



<https://azby.fmwworld.net/support/contact/chat/>

自動応答受付時間：24 時間

オペレーター受付時間：9:00～18:00

- ・システムメンテナンス日、当社指定の休日などを除きます。
- ・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
- ・お問い合わせ内容によっては、他の窓口などへのお問い合わせをお願いする場合があります。

■ 電話で相談する

使い方や技術相談のお問い合わせには、事前にユーザー登録が必要です。

ユーザー登録ページ

<https://azby.fmwworld.net/entry>



通話料無料 0120-950-222 [注]

携帯電話、IP 電話からはこちら

(通話料金お客様負担) 045-514-2255

注：受付時間、休業予定など、最新の情報は FMV サポートページ (<https://azby.fmwworld.net/support/>) で確認してください。

※ 電話番号はお間違えのないように、十分ご確認のうえおかけください。

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。

※ 音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。

□ ご利用料金

● 保証開始日から 1 年間無料でご利用いただけます。

● 2 年目以降

お問い合わせ 1 件あたり 2,090 円（税込）

・ My Cloud カードまたは My Cloud プレミアムカードでお支払いの場合は、1,570 円/件（税込）でご利用いただけます。

詳しくは、(<https://azby.fmwworld.net/members/mycloudcard/>) をご覧ください。

FMV プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、FMV プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。



▶ 保証開始日および型名は「富士通アドバイザー」（→P.23）で確認できます。

▶ お問い合わせ 1 件は、お電話の回数ではなく、技術相談 1 項目ごとに 1 件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません（ただし 14 日以内に限りです）。

□ お支払い方法

次のいずれかの方法でお支払いいただけます。

クレジットカード	サポート開始のときに SMS またはメールで送りするお支払い専用ページのフォームより、クレジットカード番号、有効期限、セキュリティコードを入力して手続きしてください。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途 210 円かかります。

□ お問い合わせ前に確認してください

- お使いのパソコンをお手元にご用意いただいていますか？
お電話中に操作を行っていただく場合があります。

修理の申し込み

最新の修理サービスについては

(<https://azby.fmwworld.net/support/repair/>) でご確認ください。

■ 修理を申し込むうえでの注意

- 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。

- 「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」 (→P.35) を確認のうえ、同意をお願いします。
修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては第 13 条 (個人情報の取り扱い) をご覧ください。
- 保証書をお手元にご用意ください。
保証期間は、ご購入日から 1 年間となります。保証書で確認できます。保証期間内は無料で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。
- 故障品をお手元にご用意ください。
お申し込み時に操作いただく場合があります。
- 修理を円滑に行うために実施していただきたいことがあります。FMV サポートページ (→P.24) から Q&A ナンバー「9111-2878」を検索してご覧ください。
- データのバックアップをおとりください。
修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置 (ストレージなど) 内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身で DVD などのディスクや外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

Q&A ナンバー
9111-2878



■ 修理の申し込み方法

ホームページまたは電話でお申し込みください。

□ ホームページ

ネットで故障診断

[https://
azby.fmworld.net/webpcrepair/](https://azby.fmworld.net/webpcrepair/)

パソコンが故障しているかどうかを調べ、ホームページから修理を申し込むことができます。



□ 電話

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」 (→P.27) をご覧ください。

パソコンを初期状態に戻す (リカバリ)

Windows 11 には、トラブルに備え、パソコンを以前の状態に戻す機能が搭載されています。
パソコンをご購入時に近い状態に戻すことをリカバリといいます。Windows の画面では「この PC を初期状態に戻す」と表示されています。

リカバリを行う場合とは

リカバリすると、パソコンはご購入時に近い状態に戻るため、削除されるデータもあります。
そのため「よくあるトラブルと解決方法」 (→P.25) をご覧になり、すべて対処しても解決しなかった場合のみ行ってください。

重要

- ▶ リカバリするときに回復キーが必要になる場合があります。トラブルに備え、できるだけ早く保管してください。取得方法は「デバイス暗号化の回復キーを保管する」 (→P.17) をご覧ください。

- ▶ リカバリのためのデータは、パソコン内に保存されていますが、そのデータが破損したときは、回復ドライブ (リカバリ用) からリカバリします。「回復ドライブ (リカバリ用) を作成する」 (→P.21) をご覧になりできるだけ早く作成してください。
- ▶ 回復ドライブ (リカバリ用) を作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリを購入してリカバリしてください (→P.30)。

Point

- ▶ パソコン内のデータを使用してのリカバリ、回復ドライブ (リカバリ用)、リカバリ USB メモリでは、リカバリ後のパソコンの状態は少しずつ異なります。「FMV-初期状態に戻す (リカバリ) ガイド」で違いを説明しています。

→ 「すべてのアプリ」→ 「FMV-初期状態に戻す (リカバリ) ガイド」の順にクリックしてご覧ください。

リカバリ方法の種類

ご購入時に近い状態に戻したいときは「すべて削除する」を行ってください。

● すべて削除する

- ・ ファイルの削除のみ行う

ほぼご購入時の状態に戻ります。ローカルアカウントも削除されるので、セットアップをやり直す必要があります。

- ・ ドライブを完全にクリーンアップする

消去されるものは「すべて削除する (ファイルの削除のみ行う)」と同じですが、簡単にデータ復元できないように完全に削除されます。そのため操作に数時間かかります。

HDD/SSD の容量が大きいほど長くなります。他人にパソコンを譲渡するなど完全にデータを削除したいときにお使いください。

Point

- ▶ パソコンから「この PC を初期状態に戻す」を行った場合、Windows はロールアップが適用された状態に戻ります。ドライバは最新のロールアップ適用前に戻ります。ロールアップとは、修正プログラム、セキュリティ修正プログラム、重要な更新およびアップデートを配布しやすいように 1 つにまとめた累積的なパッケージです。
- ▶ 回復ドライブ (リカバリ用) からリカバリした場合は、Windows とドライバはほぼ回復ドライブ (リカバリ用) 作成時点の状態に戻ります。
- ▶ このパソコンを購入したときにインストールされていたアプリはインストールされた状態に戻ります。

● 個人用ファイルを保持する

一部のデータが保持されるため、Windows のトラブルによってはこの方法で問題解決できないこともあります。

Windows、ドライバ、アプリの状態は「すべて削除する」を行ったときと同じようにほぼご購入時の状態になります。また、使い始めてから作った次のデータや設定は削除されず保持されます。

- ・ クイックアクセスに登録されたフォルダーなどのユーザーの個人用ファイル
 - ・ 個人用ファイルは「C:\Users」配下のデータです。ただし、次のパスの配下のデータは消去されます。この配下にはアプリに固有のアプリ設定、ファイル、データが含まれます。
 - ・ C:\Users\%[ユーザー名]\AppData
 - ・ 「ごみ箱」内のデータ
 - ・ ユーザーアカウント
 - ・ インターネットや無線 LAN などのネットワーク接続設定
 - ・ 「設定」ウィンドウの設定
- 消去されないデータについても念のためバックアップをとったり、メモしたりすることをお勧めします。

この PC を初期状態に戻す（リカバリ）準備

■ リカバリするうえでの注意

- **バックアップをとってください**
リカバリすると、消去されるデータがあります。必要なデータはバックアップしてください。
- **外付けハードディスクや USB メモリは必ず取り外してください**
接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- **周辺機器（プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器）を取り外してください**
接続したままだと本書の手順と異なってしまう場合があります。マウスも取り外してください。
- **メモリーカードは取り出してください**
メモリーカードをセットしていると、本書の手順と異なってしまう場合があります。
- **リカバリ中は他の操作をしないでください**
むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、正常に終了しない場合があります。
- **時間に余裕をもって作業しましょう**
途中で中断したり、パソコンの電源を切ったりすることはできません。消去されたアプリなどを再インストールしたり、バックアップしたデータを復元したりするとさらに時間がかかります。時間に余裕をもって、じっくりと作業することをお勧めします。
- **必ず AC アダプタを接続してください**

■ リカバリ中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

- **画面が真っ暗になった**
画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。フラットポイントの操作面に触れるか、【↑】【↓】【←】【→】キーや【Shift】キーを押してください。それでも復帰（レジューム）しない場合は、電源ボタンをポチッと押してください。
- **電源が切れない**
電源ボタンを 10 秒以上押して電源を切ってください。
- **エラーメッセージが表示された**
「ソフトウェアからの変更の画面」というメッセージが表示された場合は、キーボードの【←】または【→】キーを押して「はい」を選択し、【Enter】キーを押してください。

この PC を初期状態に戻す（リカバリ）

まず「パソコン内のデータからリカバリする」（→P.29）をご覧ください。リカバリしてください。

操作がうまくいかなかった場合や、操作後もパソコンのトラブルが継続した場合は、「回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリする」（→P.30）をご覧ください。リカバリしてください。

■ パソコン内のデータからリカバリする

パソコンの電源が切れた状態から「オプションの選択」画面を表示して操作します。

- 1 パソコンの電源が切れた状態で、【F12】キーを押しながら、パソコンの電源を入れ、音が鳴ったら、【F12】キーから指を離します。音が鳴らなくても、「起動メニュー」が表示されたら【F12】キーから指を離します。

- 2 【Tab】キーを押し、「アプリケーションメニュー」に切り替えます。
- 3 【↓】キーを押し、「Windows 回復環境」を選択して【Enter】キーを押します。
- 4 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をクリックします。
- 5 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「この PC を初期状態に戻す」をクリックします。
- 6 「すべて削除する」をクリックします。

Point

- ▶ 個人用ファイルを保持する場合は「個人用ファイルを保持する」をクリックします。その後の操作は「個人用ファイルを保持する場合は」（→P.29）をご覧ください。

- 7 回復キーを選択する画面が表示された場合は、「回復キーの入力」をクリックします。
- 8 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キー（→P.17）を入力し、「続行」をクリックします。
- 9 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示された場合は、「ローカル再インストール」をクリックします。
- 10 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。
データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。
- 11 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。
リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。
- 12 「国または地域はこれよりよろしいですか？」という画面が表示されたら、「Windows のセットアップをする」（→P.13）をご覧ください。セッアップします。
「リカバリ後にセットアップするときの注意」（→P.30）もあわせてご覧ください。

■ 個人用ファイルを保持する場合は

- 「パソコン内のデータからリカバリする」の手順 6（→P.29）で「個人用ファイルを保持する」をクリックした後の手順です。
- 1 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示された場合は、お使いのアカウントをクリックします。
 - 2 「このアカウントのパスワードを入力してください。」と表示された場合は、パスワードを入力し、「続行」をクリックします。
 - 3 回復キーを選択する画面が表示された場合は、「回復キーの入力」をクリックします。
 - 4 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キー（→P.17）を入力し、「続行」をクリックします。
 - 5 「Windows を再インストールする方法を選択します。」と表示された場合は、「ローカル再インストール」をクリックします。

6 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？」と表示されたら、「初期状態に戻す」をクリックします。

リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。Microsoft アカウントのパスワードまたは PIN 入力を求められた場合は入力してください。指紋の登録をしていると、指紋認証でサインインできる場合もあります。デスクトップが表示されたら、リカバリは完了です。

※ デスクトップアプリが削除された場合、デスクトップに「削除されたアプリ.html」が作成されます。削除されたデスクトップアプリ一覧が確認できます。

■ 回復ドライブ（リカバリ用）からリカバリする

1 電源が切れた状態で、回復ドライブ（リカバリ用）を作成した USB メモリをパソコン本体の USB コネクタに接続します。

2 【F12】キーを押しながら、パソコンの電源を入れ、音が鳴ったら、【F12】キーから指を離します。音が鳴らなくても、起動メニューが表示された場合は、【F12】キーから指を離します。

3 【↓】キーを押し、接続した USB メモリを選択し、【Enter】キーを押します。

4 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をクリックします。

5 「オプションの選択」画面が表示されたら「ドライブから回復する」をクリックします。

6 回復キーを選択する画面が表示された場合は、「回復キーの入力」をクリックします。

7 「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、回復キー（→P.17）を入力し、「続行」をクリックします。

8 通常は「ファイルの削除のみ行う」をクリックします。

データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「リカバリ方法の種類」（→P.28）をご確認ください。

9 「このデバイスをリセットする準備はできていますか？」と表示されたら、「回復」をクリックします。

リカバリが開始されます。電源を切らずにお待ちください。

10 「国または地域はこれでよろしいですか？」という画面が表示されたら、「Windows のセットアップをする」（→P.13）をご覧ください、セットアップします。

「リカバリ後にセットアップするときの注意」（→P.30）もあわせてご覧ください。

■ リカバリ後にセットアップするときの注意

- 富士通パソコンユーザー登録が済んでいれば、再度行う必要はありません。
- リカバリするとデバイス暗号化の回復キーが変更される場合があります。新しい回復キーを確認し、メモしてください（→P.17）

- デバイス暗号化の対象機種では、すべての手順を終え、セットアップを完了させた後、デバイス暗号化が無効になる場合があります。次の手順でデバイス暗号化の状態を確認し、有効にしてください。

1.  → （設定）→「プライバシーとセキュリティ」の順にクリックします。
2. 「デバイスの暗号化」をクリックします。
3. 「デバイスの暗号化」の （オフ）をクリックして （オン）にします。

- 使い始めてから 1 年程度たってから回復ドライブ（リカバリ用）やリカバリ USB メモリを使ってリカバリした場合、手動で Windows Update を適用しないと Windows が最新の状態にならない場合があります。

1.  → （設定）→「Windows Update」の順にクリックして更新してください。

リカバリ USB メモリを購入してリカバリする

Windows が起動しない場合、回復ドライブ（リカバリ用）を作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリから起動してご購入時の状態に戻すリカバリを行うと回復できることがあります。

- リカバリ USB メモリを購入してリカバリすると、パソコンはご購入時の状態とまったく同じ状態に戻ります。そのため、セットアップが必要になります。
- リカバリ USB メモリは、ホームページから購入できます。
「リカバリメディア有償サービス」
<https://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>
リカバリ方法は、リカバリ USB メモリに同梱されたマニュアルをご覧ください。

こんなときは

パソコンの電源を完全に切るには

日常的なパソコンの仕様では、この方法で電源を切る必要はありません。

Point

- ▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でパソコンの電源を切ってください。
 - ・ BIOS セットアップを起動する上記以外にも、操作前にパソコンの電源を完全に切る必要のある場合があります。
- 詳しくは  『取扱説明書＜活用ガイド＞』（→P.1）の「取り扱い」→「Windows をスタートする／終了する」をご覧ください。

1.  → （設定）→「システム」の順にクリックします。
2. 「回復」をクリックします。
3. 「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動」をクリックします。
4. 「デバイスを再起動するため作業内容を保存します」というメッセージが表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。
5. 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をクリックします。

起動メニューの表示のしかた

回復ドライブ（リカバリ用）やリカバリ USB メモリから起動する場合などに、起動メニューを表示します。

パソコンの電源が切れた状態から操作を開始します。

- 1 【F12】 キーを押しながら、パソコンの電源を入れ、音が鳴ったら、【F12】 キーから指を離します。音が鳴らなくても、起動メニューが表示された場合は、【F12】 キーから指を離します。

Point

- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、画面の指示に従ってパスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、このパソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

Bluetooth マウスを設定する

Bluetooth マウスが添付されている場合

セットアップのときに Bluetooth マウスの設定ができなかった場合は、次の手順で設定してください。

- 1 Bluetooth マウスの底面の電源スイッチを ON にします。
- 2 状態表示ランプが点滅していない場合は、マウス底面の CONNECT ボタンを指で約 3 秒間押し、状態表示ランプが点滅したら離します。
点滅しているときにマウスの設定を行うことができます。CONNECT ボタンを押すときは他のボタンを押さないように注意してください。
- 3  → （設定）「Bluetooth とデバイス」の順にクリックします。
- 4 「デバイスの追加」をクリックします。
- 5 「デバイスを追加する」ウィンドウが表示されたら「Bluetooth」をクリックします。
- 6 「FUJITSU MOUSE01」をクリックします。
- 7 「デバイスの準備が整いました!」と表示されたら、「完了」をクリックします。

パソコンを廃棄・リサイクルするときは

個人でご使用のお客様が本製品を廃棄する場合は、環境配慮のため次のお申し込みホームページよりお申し込みください。

リサイクルの流れや注意事項などの最新の情報は、お申し込みホームページでご確認ください。

リサイクルお申し込みホームページ

パソコン・スマートフォンから
[https://azby.fmworld.net/
recycle/](https://azby.fmworld.net/recycle/)



お問い合わせ電話番号

045-514-2188（通話料金お客様負担）

受付時間 9:00～17:00（土・日・祝日および弊社指定休日を除く）

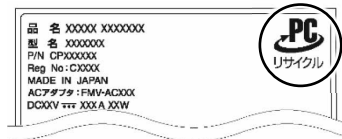
■ PC リサイクルマークについて

平成 15 年（2003 年）10 月以降に販売された家庭向けパソコンに貼付されているものです。リサイクルマークの付いた使用済み弊社パソコンは、廃棄する際に新たな料金をご負担いただくことなく、廃棄いただけます（法人（個人事業主を含む）、企業は除く）。

PC リサイクルマークのついていない弊社パソコンは、料金をご負担いただければ廃棄を承ります。

料金など詳しくは、お申し込みホームページをご確認ください。

PC リサイクルマーク



- 注 1: 装置銘板は機種により異なります。
- 注 2: パソコン本体にカバーなどがある機種は、PC リサイクルマークが隠れている場合があります。

重要

- ▶ 法人（個人事業主を含む）企業のお客様へ
お申し込みホームページは、個人のお客様を対象にしています。法人（個人事業主を含む）、企業のお客様向けパソコンリサイクルについては、富士通のホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」（<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>）をご覧ください。

■ パソコンの廃棄・譲渡時のストレージ上のデータ消去に関するご注意

パソコンを廃棄あるいは譲渡する際、ストレージに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があり、結果的にデータが流出してしまうことがあります。

原因として、パソコンのストレージに記録されたデータは、削除したり、ストレージを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。

また、ストレージ上のソフトウェアを削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、パソコンを廃棄あるいは譲渡する際は、ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス（有料）のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、FMV サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」（<https://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>）をご覧ください。

● データ消去ツール

パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の 1 つとして、専用ソフトウェア「EraseDisk」が搭載されています。

「EraseDisk」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、ストレージの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「EraseDisk」の使用方法については、FMV サポートページ（→ P.24）から Q&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください。

■ 付属品の廃棄について

□ 使用済み乾電池の廃棄について

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには乾電池を使用しており、火中に投げると破裂のおそれがあります。使用済み乾電池を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

● 個人のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

● 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へ

使用済み乾電池を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分量の許可を取得している会社に処分を委託してください。

□ 使用済みバッテリーの取り扱いについて

バッテリーパックを交換できる機種のみ

- ・リチウムイオン電池のバッテリーパックは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
- ・使用済みバッテリーは、ショート（短絡）防止のためビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
- ・バッテリーを火中に投げると破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

● 個人のお客様へ

使用済みバッテリーは廃棄せずに充電式電池リサイクル協力店に設定してあるリサイクルBOXに入れてください。詳しくは、一般社団法人JBRC [ジェイビーアールシー] のホームページ (<https://www.jbrc.com/>) をご覧ください。
一般社団法人JBRCに加盟し、リサイクルを実施しています。



Point

- ▶ リサイクルにお申し込みいただく場合は、バッテリーパックは外さずに、パソコンといっしょにリサイクルにお出してください。パソコンのリサイクルについては、「パソコンを廃棄・リサイクルするときは」（→P.31）をご覧ください。

● 法人（個人事業主を含む）、企業のお客様へ

法人（個人事業主を含む）、企業のお客様は、富士通のホームページ「ICT製品の処分・リサイクル方法」 (<https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/>) をご覧ください。



Li-ion

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

海外でノートパソコンを修理するときは

お客様が海外滞在中に、万が一弊社ノートパソコンが故障した場合、滞在先の国や地域でもハードウェアの修理サービスを受けることができます。本サービスは、保証書に記載している保証期間にかかわらず、本体に最初に電源を入れた日から1年間は無料 [注] で修理を行います。2年目以降は有料での修理となります。

本サービスをご利用いただける国・地域、サービス内容やご利用方法について詳しくは、弊社のホームページ

(<https://azby.fmworld.net/support/globalrepair/>) の「海外でのノートパソコンの修理について」をご覧ください。

- 注
- ・機器本体に同梱された保証書記載の「無料修理規定」に定められた範囲内の修理に限り、修理料金は無料となります。
 - ・保証開始日および型名は保証書で確認できます。

■ サービスのご利用方法

ご利用いただくにはユーザー登録が必要です（入会費・年会費無料）。

■ サービスのご利用上の注意

- 修理にてストレージ交換を行う場合、本サービスでは何も格納していない状態のストレージの取り付けまでを実施します。パソコンの状態の回復や、データ復元、リカバリはお客様ご自身で実施していただけます。あらかじめご了承ください。
- 海外に渡航する場合は、回復ドライブ（リカバリ用）を作成して、お持ちくださいますようお願いいたします。作成方法は、「回復ドライブ（リカバリ用）を作成する」（→P.21）をご覧ください。
- サービス拠点では、リカバリ USB メモリの販売および日本からの取り寄せなどのサービスは行っておりません。あらかじめご了承ください。

■ 海外でのご使用について

本サービスの対象機種を含む弊社パソコンおよび周辺機器は日本国内仕様です。

本サービスは、お客様個人の責任のもとで対象機種を一時的に海外（ただし対象地域に限る）に持ち出される場合に修理サービスをご提供するものであり、対象地域における動作保証をするものではありません。

内蔵の無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーは日本以外の国または地域ではご使用になれません。

弊社パソコンを海外に持ち出す場合や、海外で使用する場合には、FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「9206-6259」や「4301-7762」を検索してご覧ください。

仕様一覧

ここでは、パソコン本体の主な仕様を紹介しています。なお、パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」（→P.23）の「サポート&サービス情報」の画面から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのパソコンの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- パソコン本体の裏面に貼付されたラベル
- 「富士通アドバイザー」（→P.23）の画面右上



▶ 型名の確認方法の詳細は、FMV サポートページ（→P.24）から Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます。

■ LIFEBOOK UH-X/H1、UH90/H1

シリーズ名	UH シリーズ	
品名	LIFEBOOK UH-X/H1	LIFEBOOK UH90/H1
モダンスタンバイ	対応	
CPU 注1	インテル® Core™ i7-1355U プロセッサ (HT テクノロジー対応)	インテル® Core™ i7-1360P プロセッサ (HT テクノロジー対応)
メインメモリ注2 【交換・増設不可】	オンボード (LPDDR5 6400)、ECC なし	
標準容量	16GB (オンボード)	
最大容量		
光学ドライブ注3	—	
無線 LAN 注4	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi準拠) (Wi-Fi CERTIFIED 6™ 準拠) 注5
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式注6
電源供給方式	AC アダプタ注7	入力 AC100V~240V、出力 DC20V (2.25A)
	バッテリー注12	リチウムイオン 25Wh
消費電力	ホームページに記載された仕様一覧をご覧ください。	
外形寸法 (幅×奥行×高さ) (突起部含まず)	308.8×209×15.8~17.3mm	
本体質量 (バッテリーパック含む) 注8	約 689g	UH90/H1 (型名 FMVU90H1B) : 約 848g UH90/H1 (型名 FMVU90H1H) : 約 858g UH90/H1 (型名 FMVU90H1W) : 約 858g

■ LIFEBOOK WU-X/H1、WU2/H1

シリーズ名	UH シリーズ		
品名	LIFEBOOK WU-X/H1	LIFEBOOK WU2/H1	LIFEBOOK WU2/H1 5G 対応モデル
モダンスタンバイ	対応		
CPU 注1	【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-1355U プロセッサ (HT テクノロジー対応) / インテル® Core™ i5-1335U プロセッサ (HT テクノロジー対応)	【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-1355U プロセッサ (HT テクノロジー対応) / インテル® Core™ i5-1335U プロセッサ (HT テクノロジー対応) / インテル® Core™ i3-1315U プロセッサ (HT テクノロジー対応)	【以下より選択可能】 インテル® Core™ i7-1360P プロセッサ (HT テクノロジー対応) / インテル® Core™ i5-1340P プロセッサ (HT テクノロジー対応)
メインメモリ注2 【交換・増設不可】	メモリ容量 8GB、16GB の場合: オンボード (LPDDR5 6400)、ECC なし メモリ容量 32GB の場合: オンボード (LPDDR5 6000)、ECC なし 注13		
標準容量	【以下より選択可能】注9 8GB (オンボード) / 16GB (オンボード) / 32GB (オンボード)	【以下より選択可能】注10 4GB (オンボード) / 8GB (オンボード) / 16GB (オンボード) / 32GB (オンボード)	【以下より選択可能】注11 16GB (オンボード) / 32GB (オンボード)
	最大容量	選択した「標準容量」と同じ	

シリーズ名		UH シリーズ		
品名		LIFEBOOK WU-X/H1	LIFEBOOK WU2/H1	LIFEBOOK WU2/H1 5G 対応モデル
光学ドライブ ^{注3}		—		
無線 LAN ^{注4}	規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac/ax 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi®準拠) (Wi-Fi CERTIFIED 6™準拠) ^{注5}		
	内蔵アンテナ	ダイバーシティ方式 ^{注6}		
無線 WAN		—		対応 (5G)
電源供給方式	AC アダプタ ^{注7}	入力 AC100V~240V、 出力 DC20V (2.25A)	【以下より選択可能】 入力 AC100V~240V、 出力 DC20V (2.25A) / 入力 AC100V~240V、 出力 DC20V (3.25A)	入力 AC100V~240V、 出力 DC20V (3.25A)
	バッテリー ^{注12}	リチウムイオン 25Wh	【以下より選択可能】 リチウムイオン 25Wh / リチウムイオン 64Wh	リチウムイオン 64Wh
消費電力		ホームページに記載された仕様一覧をご覧ください。		
外形寸法 (幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		308.8×209×15.8~17.3mm		
本体質量 (バッテリー パック含む) ^{注14}		約 689g~	25Wh バッテリー搭載時: 約 768g~ ^{注15} 64Wh バッテリー搭載時: 約 878g~ ^{注15}	約 928g~

注1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。

注2 ご購入時の状態から変更できません。

注3 搭載されていません。

注4 無線 LAN の仕様については、📖『取扱説明書<活用ガイド>』(→P.1)の「使いこなすために」-「通信」-「無線 LAN」をご覧ください。

注5 Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注6 IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠、IEEE 802.11ax 準拠を使用したときは、MIMO 方式にもなります。

注7 標準添付されている電源ケーブルは AC100V (国内専用品) 用です。また、矩形波が出力される機器 (UPS (無停電電源装置) や車載用 AC 電源など) に接続されると、故障する場合があります。

注8 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。

注9 ・インテル® Core™ i5-1335U プロセッサ搭載時は、32GB は選択できません。

・インテル® Core™ i7-1355U プロセッサ搭載時は、8GB は選択できません。

注10 ・インテル® Core™ i3-1315U プロセッサ搭載時は、16GB、32GB は選択できません。

・インテル® Core™ i5-1335U プロセッサ搭載時は、4GB、32GB は選択できません。

・インテル® Core™ i7-1355U プロセッサ搭載時は、4GB は選択できません。

注11 インテル® Core™ i5-1340P プロセッサ搭載時は、32GB は選択できません。

注12 バッテリーの交換はできません。

注13 インテル® Core™ i3-1315U プロセッサ搭載時は、「オンボード (LPDDR5 5200)、ECC なし」となります。

注14 色や選択した仕様によって異なる場合があります。また、平均値のため各製品で質量が異なる場合があります。

注15 本体カラーがピクトブラックの場合は、次のようになります。

25Wh バッテリー搭載時: 約 758g~

64Wh バッテリー搭載時: 約 868g~

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

第1条 (本規定の適用)

- 富士通クライアントコンピューティング株式会社（以下「当社」といいます）は、お客様が当社のFMVサポートお問い合わせ窓口にて修理の依頼をされた場合、または当社の専用ホームページ「<https://azby.fmwworld.net/support/repair/index.html>」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
- 前項に基づき当社が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第2条 (対象機器)

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け当社製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け当社製パーソナルコンピュータ用の当社製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第3条 (修理の形態)

- 当社は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると当社が判断した場合には、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があるものとします。

(1) 引取修理（パソコン修理便）

お客様の自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。

(2) 訪問修理

訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、当社指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。

- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると当社が判断した場合は、当社は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から当社に送付していただきます。

第4条 (保証期間内の修理)

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、当社は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。

- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- 保証書が対象機器に添付されていない場合
- 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされていた場合
- ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、水没、落下等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
- 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
- 当社指定の有寿命部品、消耗品（バッテリー、乾電池等）または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
- 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
- お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
- 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合（例：対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等を含み、以下同じとします）の場合
- お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要となった場合
- お客様の使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）

- 第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。

- 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第5条 (保証期間外の修理)

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、当社は、有料で修理を行います。

- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。

- 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に合った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと当社が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、当社指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に合った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所に訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条 (修理料金の見積もり)

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、当社は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺った内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。当社もしくは当社指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提供いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要があるに生じた場合には、当社は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただけなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、当社は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条 (修理料金等の支払い方法)

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条 (修理期間)

引取修理の場合、当社は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間でご対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があるものとします。

- お客様から同った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
- 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
- お客様の都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
- 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合

- 第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条 (修理品の保管期間)

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、当社は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、当社はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条 (故障部品の取り扱い)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、当社は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、当社の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

第11条 (修理ご依頼時の注意事項)

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- お客様が保証期間内に修理をご依頼される場合は、必ず対象機器に同梱されている保証書を対象機器に添付いただくものとします。
- お客様が修理をご依頼された対象機器の記憶装置（ハードディスク等）に記憶されたデータ、プログラムおよび設定内容（以下総称して「データ等」といいます）につきましては、当社では一切保証いたしません。お客様は、修理をご依頼

- される前に、お客様の責任においてバックアップをとっていただくものとします。（日頃から随時バックアップをとられることをお勧めいたします。）なお、修理および修理前の診断作業の過程で、データ等が変化・消去される場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第6条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に当社が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程でデータ等が変化・消去されている場合があります。
- (3) 当社は、修理および修理前の診断作業の過程で、インターネットへの接続確認等の目的で対象機器をインターネットに接続する場合があります。お客様が修理をキャンセルされた場合（第6条に定める場合を含みます）でも、当該キャンセルの時点で既に当社が修理前の診断作業を実施していた場合は、当該作業の過程で対象機器がインターネットに接続されている場合があります。なお、当該接続によりデータ等が変化・消去される場合があります。また、当社は、当該接続によりデータ等が変化、消去される等の問題が生じ、当該問題を解決するために必要と判断した場合、データ等を変更、消去する場合があります。
- (4) 修理完了後のオペレーティングシステム（OS）ならびにその他のプログラムの再インストールおよびセットアップ等につきましては、お客様ご自身で実施いただくものとします。
- (5) お客様ご自身で貼り付けられたシール等につきましては、取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。また、お客様ご自身で行われた塗装や刻印等につきましては、元の状態への復旧はできないものとします。
- (6) 当社は、修理期間中の代替機の貸し出しは行わないものとします。なお、修理期間中の対象機器の使用不能による補償等は、本規定で定める責任を除き当社では一切責任を負わないものとします。
- (7) お客様が対象機器にパスワードを設定されている場合は、当該設定を解除したうえで修理をご依頼いただくものとします。
- (8) 対象機器の修理とは関係のない記録媒体（CD、DVD、メモリーカード、フロッピーディスク、MO等）、他の機器との接続ケーブル、および添付品等につきましては、事前にお客様の方で対象機器から取り外したうえで修理をご依頼いただくものとします。なお、万が一これらが対象機器に付加された状態で修理をご依頼いただいた場合、当社ではこれらの管理につき一切責任を負わないものとします。
- (9) 修理のご依頼時に、当該修理にリカバリディスクが必要である旨当社からお客様にお知らせした場合は、お客様は必ず対象機器に同梱されているリカバリディスクを添付いただくものとします。
- (10) 次の各号のいずれかに該当するものは、修理の対象から除かれるものとします。
a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
b. ウィルス除去
c. ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
d. 有機ELディスプレイの焼き付きが存在する場合の修理・交換
e. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (11) 訪問修理の場合であって、当社または当社指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が2週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

第12条（補修用性能部品）

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第10条に定める故障部品の再利用も含む）とします。
2. 当社における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱されている説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

第13条（個人情報の取り扱い）

1. 当社は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱いします。
- (1) 修理を実施すること。
- (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。
- (3) お客様に有益と思われる当社または当社の子会社、関連会社もしくは提携会社の製品、サポートサービス等の情報を、電子メール、郵便、電話等によりお客様へ提供すること。
- (4) お客様の個人情報の取り扱いにつき、個別にお客様の同意を得るために、当該お客様に対し電子メール、郵便、電話等により連絡すること、および当該同意を得た利用目的に利用すること。
2. 当社は、前項に定める利用目的のために必要な範囲で、お客様の個人情報を業務委託先に取り扱わせることができるものとします。
3. 当社は、「個人情報の保護に関する法律」において特に認められている場合を除き、お客様の個人情報につき、第1項に定める以外の利用目的で取り扱い、または前項に定める以外の第三者に開示、提供することはありません。

第14条（責任の限定）

1. 当社が実施した修理に当社の責に帰すべき瑕疵が発見され、当該修理完了日より3か月以内に、当該修理時の「診断・修理報告書」を添えてその旨お客様より当社にご連絡いただいた場合、当社は自己の責任と費用負担において必要な修理を再度実施いたします。なお、ここでのいう瑕疵とは、当該修理を実施した箇所の不具合により再度修理が必要となる場合をいいます。

2. 合理的な範囲で当社が前項の修理を繰り返し実施したにもかかわらず、前項の瑕疵が修理されなかった場合には、当社は、当該瑕疵に起因してお客様に生じた損害につき、賠償責任を負うものとします。
3. 対象機器の修理に関連して当社がお客様に対して損害賠償責任を負う場合、その賠償額は、修理料金相当額を上限とします。また、当社は、当社の責に帰すことのできない事由から生じた損害、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、造失利益については、責任を負わないものとします。
4. 対象機器の修理に関連してお客様が被った損害が、当社の故意または重大失に起因するものである場合には、前項の規定は適用されないものとします。

第15条（変更）

1. 当社は、本規定の内容を変更する必要がある場合は、お客様に対する通知をもって変更できるものとします。なお、当該通知は、専用ホームページでの表示により行われるものとします。
2. 当社が本サービスにかかる事業を第三者に譲渡する場合には、お客様の承諾を得ることなく、当該事業譲渡に伴い、本規約に基づく権利および義務ならびにお客様の登録情報その他の情報等を当該事業譲渡の譲受人に譲渡することができるものとします。なお、本項に定める事業譲渡には、通常の事業譲渡のみならず、会社分割その他事業が移転するあらゆる場合を含むものとします。

第16条（反社会的勢力等の排除）

1. お客様は、自らが次の各号に記載する者（以下、「反社会的勢力等」という）に該当せず今後も該当しないこと、また、反社会的勢力等との関係を持っておらず今後も持たないことを確約します。
- (1) 警察庁「組織犯罪対策要綱」記載の「暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ、特殊能力系暴力集団等」その他これらに準ずる者
- (2) 資金や便宜を供与したり、不正の利益を図る目的で利用するなど、前号に記載する者と人的・資本的・経済的に深い関係にある者
2. お客様は、自らまたは第三者を利用して、次の各号に記載する行為を行わないことを確約します。
- (1) 詐術、暴力的行為または脅迫的言辞を用いる行為
- (2) 違法行為または不当要求行為
- (3) 業務を妨害する行為
- (4) 名誉や信用等を毀損する行為
- (5) 前各号に準ずる行為
3. 当社は、お客様が前各号に違反したときは、お客様に対して損害賠償義務を負うことなく、何等の催告なしにただちに本規定に基づく対象機器の修理および関連するサービスの提供を中止または拒否することできるものとします。

第17条（専属的合意管轄裁判所）

本規定に基づく対象機器の修理に関する訴訟については、東京地方裁判所をもって第一審における合意上の専属的管轄裁判所とします。

付則

本規定は、2022年6月17日から実施します。

■対象機器^{注1注2}

当社または富士通株式会社製のパーソナルコンピュータ／タブレット

- ・ARROWS Tabシリーズ（個人向けWindowsタブレット）
- ・arrows Tabシリーズ（個人向けWindowsタブレット）
- ・FMVシリーズ
- ・FMV STYLISTIC QHシリーズ
- ・ESPRIMO／LIFEBOOKシリーズ
- ・FMV Liteシリーズ
- ・FMV Chromebookシリーズ^{注3注4}
- ・FMV LOOXシリーズ
- ・その他、当社が別途「対象機器」と定める、富士通株式会社または富士通クライアントコンピューティング株式会社の製品

注1 日本国内個人向け商品に限りします。

注2 ソフトウェアについては、上記製品にあらかじめインストールされているもののうち、当社がサポートするもののみが対象となります。

注3 FMV Chromebookシリーズにつきましては、第3条第1項(2)訪問修理の対象外とさせていただきます。

注4 FMV Chromebookシリーズにつきましては、第11条(2)において必ずデータ消去されます。

FMV LIFEBOOK 取扱説明書スタートガイド B6FK-9011-01-02 発行日：2023年2月 発行責任：富士通クライアントコンピューティング株式会社 〒212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田1-1-2 新川崎三井ビルディング（ウエストタワー）
●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。 ●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。 ●無断転載を禁じます。 ●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。